トシゴヒノ祭 風雨旱魃害蟲等のなく年穀の豐穰を祈るトシゴヒノ祭は全權大使代理辻畑庶務課長參向の下に新京神社に於て十七日午前十時から嚴肅に執行された

名物けさの煙霧
氣温は下つたが……遠のく寒さ

十日ごろから一ケ月も早い淺春の訪れをみた國都では十六日深更から氣温の低下を見たため十七日午前六時には零下二十一度七分となり名物の煙霧低く垂れこめ橙色の太陽が國都の空に鈍く輝いた、但し中央觀象臺では「御心配無用」と次の如く語つてゐる

十五日頃まで北支にあつた高氣壓がホロンバイル方面にうつり、全滿共に高氣壓圏內に入つたためまた寒くなつたのですがバイカル方面に低氣壓がありますから間もなくもとの暖かさを取り戻しこれ以上寒くなりますまい

武官の學校配屬
愈よ本年度から實施

總服役制度の實施に伴ひ緊要化した學校敎練の確立に關し治安部では舊臘十二月廿六日公布された武官の學校配屬令に基き民生部と折衝、細部の實施要領につき愼重檢討を加へた上本年度から敎官配屬を實施することになつたが、この配屬令の根本方針は軍事訓練により大學、專門學校ならびに中等學校生徒の心身を陶冶鍛鍊し併せて國防能力の增進を圖らうといふもので、既に一部四十二學校では現地軍管區司令部と折衝のうへ課目外敎育として軍事敎練を實施中であり、これを統制して正課目に編入敎練課を設け百八十八校の國民高等學校以上に實施させることになつたものである

なほ初年度は學校敎練の基幹となる敎練操典の編纂をはじめ未配屬學校の敎官配屬等の基本的整備を行ふことになつてゐるが、今次學校敎練の確立はインテリ階級の國防意識の顯現と共に明年度の徵兵制度實施に大きな示唆を與へるものとして期待されてゐる

隱れた建國功勞者の事實物語り募集
紀元二千六百年 本社記念事業

滿洲建國以來既に八年、今や國運隆盛を極め民族協和の美しき進展をなしつゝあるが、ふり返つて見れば建國の大業に粉骨碎身せる先人の業績を偲ぶとき其の功績功勞たるや偉大なるを痛感するところである、然れども肇國當時は餘りにも世事多端でありために功勞多大にして世に埋もれ世に知らるゝことなく打ち過ぎてゐるもの多々あることを感ずる

本社はこの躍進途上にある滿洲國の彌榮を讃へ友邦日本紀元二千六百年の意義ある機會を卜して廣くこれ等を紹介せんがため、記念事業としてかくれたる建國功勞者の事實物語原稿を募集することになつた

詳細は朝刊紙上に發表するが、此意義ある企畫に對して全滿各地より翕然たる參畫のあつて輝やく滿洲國建國史上に新しき頁の多彩な創造を待望するや切である

映畫館衞生に嚴重光る眼！
首警、取締りを强化

國都新京に於ける唯一の娯樂殿堂として大衆を一場に集める映畫常設館の館內衞生設備は凡ゆる方面に不完全であり、これが取締りに當つてゐる當局の再三再四の注意にも拘らず依然として從前の如く改められない現狀に今回首都警察廳衞生科ではこれが取締の萬全を期する爲めに特に館內男女兩便所內の淸潔並に換氣設備に重點を置き嚴重取締りを實施する事となつた

取締は從來行はれてゐた一時的のものでなく制服警察官を毎日の如く市內常設館に派遣して凡ゆる方面に對する衞生設備の萬全を期し平常取締を嚴にするものである

輸出特産物紙袋輸送試驗
麻袋不足の切拔策

麻袋不足の切拔け策として滿洲國では輸出特産物の船積にバラ積を慫慂、麻袋の即時回收を圖ることになつて關係方面と打合せ中であり輸送の衝に當る在連船會社ではそれぞれバラ積輸送に付て研究中であるが過去に於けるバラ積實績によれば滿船ものに對しては船積において船腹の積付けに特殊施設を要し更に陸揚げ後小口荷受人への引渡しにも煩雜をきたすなど相當技術的缺陷あり加へて荷役上の時間的損失なども考慮され、輸送運賃は相當過重する事となり早急にこれが實施は不可能の實情にある、なほ麻袋に代る紙袋輸送を三井物産では大豆百トンに對して試驗始めて試みたがその成績は注目されてゐる

滿蒙日本視察三團體日程

鐵道總局、ビューロー滿洲支部新京班共同主催の第五回訪日視察團のうち滿蒙人班第一班（三月二十九日出發）第二班（三月三十一日）第三班（四月二日）の旅程は京城、釜山、阿蘇、別府（一泊）神戸、京都（二泊）奈良（一泊橿原神宮參拜）二見ヶ浦、伊勢神宮參拜、名古屋、横濱、東京（四泊）滿洲國大使館、日光東照宮、東京、鎌倉、江ノ島、横須賀、熱海（二泊）大阪寶塚、大連（一泊）ですでに各班（二十五名）の編成も終り肇國慶祝の日本を視察出來ると一行は出發

醫療物資の缺乏對策

民生部保健司では廿一日午後二時より中銀倶樂部に於て醫療物資需給對策協議會を催し政府側より總務廳企畫處や經濟部物價、貿易、爲替管理各科、産業部化學工業科ならびに在滿藥業組合、醫療器具商、日本藥品製造會社駐滿代表、滿洲醫師會、同藥劑師會同齒科醫師會各代表者の參集を求め民生部より大平技監、川上防疫、張醫務兩科長等卅餘名出席最近滿洲國に於ける醫療物資（藥品醫療器具）の缺乏甚しくそれに付加して從來日本內地より仰いでゐたこれら醫療物資が商工省の滿關支間物資調整令及び厚生省令の藥品輸出取締規則によつて輸入困難なる狀態となつたのでこれが對策につき協議する事となつた

白米雲隱れ

朝日通三五中野公司こと中野常次郎さんは十六日午前十一時卅分頃店員奉天生れ伊江達（二六）に鐵道北白米配給所より購入の白米七十四叺一叺十五圓、千百十圓を荷馬車二臺で運搬させてゐたが、午後一時になつても店に運んで來ないのに不審を抱き調べたところ、豈に圖らん伊は馬車夫を籠絡して白米を何れかに運び去り惡德商人と闇取引（？）して金に替へて逃亡したものと思はれるので吃驚、所轄中央通署へ訴へ出た、目下同署では大量白米の不正買占め商人の摘發、伊の檢擧に努めてゐる

戀の果て

吉林市西關大來胡堂三號趙錫田（二五）は康德三年春赴日東京日本大學在學中一昨年六月ごろ大森區雪ヶ谷七〇五奈良とみ子さん（二六）と戀仲となり女が姙娠したゝめ已むなく親許へ歸省したが家にはレツキとした妻子があり今さら驚いて見たものの仕方なく不愉快な日を送つてゐるうち、昨年九月分娩した男の子が生後五日目に死亡して以來男の態度ががらりと變つて來たのでやむなく十四日吉林警察署人事股に身のふりかたを願ひ出た、趙は日本語が非常に巧いところから留學中多數の日本娘を籠絡してゐたものと見られてゐる、なほとみ子さんはそれでも日本女性らしく

「趙にだまされたとは思ひたくありません、粟飯の生活でも滿足です、金で手を切らうとする態度が嫌なのです」

と語つてゐた

空襲下の輸送に完璧の非常布陣
國都の表玄關護る新京驛の訓練

國都の表玄關新京驛では二十三日から三日間全市に亘つて大々的に實施される冬季防護訓練に對し空襲下鐵道輸送の完璧を期すべく訓練に合流することゝなり準備に忙殺されてゐるが、今次訓練には特に非常管制下における乘客の避難と防火中の救助訓練に全力を注ぐことゝなり驛前廣場に第一避難所、支社地下室に第二避難所を設けるほか防毒、管制下に於ける從業員の緊密な連絡を演練し空襲下ビクともせぬ輸送陣の鐵ぶりを誇ることになつた

「比叡號」歸翔

日滿兩首都直線航空路開設の初の試驗飛行に見事成功して十六日東京からまつしぐらに新京に飛來した日航新鋭機三菱双發二一型「比叡號」は飛行場格納庫に一夜機翼を休めたうへ十七日午前九時十分細川等操縱士の操縱により鮮やかに離陸し煙霧の國都から一路東京羽田飛行場へ歸翔した

房産から社宅貸與
特殊會社ホツと一息

借家統制令の强化に大會社の家屋借上げが抑制され社宅難に陷つた各特殊會社ではその打開策を種々講じてゐるが國都建設局でも愈よ各特殊會社の住宅問題解決に乘り出すことゝなり十七日午前十時より市公署第一會議室で各特殊會社代表三十名、市側より武藤技正並に川上管理科長等出席、協議會を開催

先づ武藤技正より今回政府の方針に基いて現在特殊會社が市より買上げた住宅地を房産會社に買上げせしめ同會社に於て住宅を建築し各特殊會社に貸與せしめる方針を說明した

尙この方針により房産會社が建築する社宅は全部で六千戸、敷地十萬坪にて各會社の申告に應じ割當されるものである

警護訓練補助員訓練

中央通署では來る廿三、廿四、廿五日の三日間行はれる冬季警護訓練中召集される警察補助員約四百名（日滿人各二百名）の訓練を十七、十八日の二日間同署講堂に於て實施

十七日は午前十時より正午までと午後三時より同五時までの二回各二時間に亘つて田中警尉より警察補助員の任務、空襲時の各種警報、避難所誘導交通整理、處置につき詳細な說明のゝち種々指導した

なほ十八日は滿人側補助員に同樣訓練を施すことゝなつてゐる

物騷な越境 綏芬河に狼

雪と氷にとぢこめられて淸淨な沈默を續けてゐた東部國境綏芬河の街にもどうやら春の氣配がほのかに感じられ始めたけふこのごろ夜更の街に牙かみ鳴らす餓狼が盛んに出沒し通行人を襲擊するとの噂がパツとたつたゝめ夜間の人出はなくなり、いつも賑ふ繁華街の客足もぱつたり杜絶えるに至つたので綏芬河國境警察隊ではソ聯からの越境餓狼を捕殺すべく十五日から嚴重な警戒陣を張つてゐるが、綏芬河の街に狼の出沒をみたのは全く十年振りのことである

國軍入營兵壯行會

協和會並に市公署では三月一日全滿より新京に入營する國軍入營兵百三十名の壯行會を二十九日協和會首都本部大講堂に於て開き、國軍入營兵の志氣を鼓舞激勵すべく之等勇士に粗餐を呈する事になつた、之は今迄の前例を破つて初めて行はれるもので近く實施される國民總服役を前にして極めて意義あるものと注目されてゐる

全滿柔道試合 新京選士決定

來る十八日奉天に於て擧行される全滿柔道有段者團體試合に出場する新京代表選士は必勝を期して連日中銀道場に火の出るやうな猛練習を行つてゐるが、十六日この選士を決定、武道會新京支部より發表された

△監督＝稲積德市（勞工協會）△選士＝大將廣田俊一三段（中央訓練所）副將多田武夫二段（新京商業）中堅泉仁太郎三段（首都警察）四將田中俊秀三段（電々會社）先鋒古森信秀三段（鑛山會社）△補缺＝北山喜四三段（金融合作社）

なほ代表一行は十七日午前九時三十分發列車で奉天に赴いた

田中賴璋畫伯

【廣島國通】日本畫壇の雄田中賴璋畫伯は豫て腎臟炎を病み療養中のところ十六日午前八時四十分遂に死去した、享年七十五

あす（十八日）

▲興亞青年義塾主催映畫と舞踊の會 於西廣場倶樂部午後一時、同六時
▲廢品更生講習會 於白菊倶樂部第三日
▲敷島區防護訓練（警察補助員訓練）防毒班訓練
▲滿畜會議 於日滿軍人會館

今晩の放送

歴史▲屋島の戰（文治元年）
▲七・三〇（新京）國民歌謠「若き妻」▲七・四〇（東京）紀元節奉祝小國民の夕お話「大國民になれ」法學博士穗積重遠▲九・一〇（東京）長唄「望月」唄吉住小三郎

二千六百年女性史をマイクで連講
世界に誇る……日本婦道顯彰

紀元二千六百年を慶祝して數々の意義深き特輯番組編成に腐心してゐる新京中央放送局では二十日午前十時二十分婦人の時間を第一回として毎週火曜日約十回にわたり國都の文化人を總動員する特別連續講演「日本女性史」を放送、上古から現代に至る日本女性の二千六百年史を紹介することゝなつたが演題及び講師は次の通り決定した

△上代＝「紀記に現はれた日本女性」講師未定△奈良朝時代＝「萬葉集の女」北村謙次郎氏△平安朝時代＝「源氏物語を中心とした女性」弘報處仲賢禮氏△源平時代＝「日本の婚姻制度について」建國大學講師大間知篤三氏△桃山時代＝「切支丹と女性」國立中央博物館彌吉光長氏△德川時代＝「德川時代の女性と敎育」帝國敎育會竹田浩一郎氏△元祿時代＝「淨瑠璃に現はれた女性」國立中央博物館副館長藤山一雄氏△幕末時代＝「尊王の裏に活躍した女性」民生部厚生司文化科淸水璞一氏△明治時代＝「鹿鳴館から社會運動先覺者まで」講師未定△大正時代＝未定△現代＝「滿系のみた現代日本女性」講師未定

滿人記者養成所第一回入所式

滿洲國弘報事業に一時代を劃すべき弘報協會新聞記者（滿系）養成所では十七日午前十時から國通會議室で晴の入所式を擧行第一回入所生十名は長谷川軍報道班長、武藤弘報處長、森田協會理事長ら來賓、三浦同所顧問、各敎官など多數參列のうちに祝福されたスタートをきり躍進滿洲國の實相を世界に宣布する雄々しい首途を固く誓つて嚴肅裡に式を終つた

二億儲蓄目指し記錄破りの躍進
優秀局功勞者 總局から表彰

一億儲蓄を瞬く間に達成し早くも二億圓めざす第二段階へ躍進する郵政總局の調査によれば本年一月の儲蓄人員一、一八二、〇五七人この金額は實に一一〇、九二八、七八八一圓に達して居り十二月に比し三〇、一三五人、八、一九七、八三八圓の增加であつた然も增加額は昨年六月のボーナス月に示した六百萬圓を遙かに突破する大記錄で聖戰下國民の緊張を如實に物語るものと言へやう、なほ郵政總局では三月末を期して次の管下廿二局（總局長表彰狀と花瓶）部外五十九氏（交通部大臣表彰狀と記念品）を儲金運動の優秀功勞者として表彰することゝなつた

優秀局（廿二局）

△新京管內（七局）開通、八面城、新京中央、蛟河、龍井、樺甸、延吉△奉天管內（五局）本溪湖、奉天中央、奉天住吉町、鞍山明治通、安東南二條通△哈爾濱管內（五局）黑河、牡丹江、扎蘭屯、綏芬河△錦州管內（五局）興城、朝陽、錦州中央、南綏中、哈爾套街

部外郵政功勞者（五十九名）

△新京管內（十三氏）四道街警察署長濱田秋次郎、室町尋常小學校長荒井信行、西廣場尋常小學校長瀨川順平、滿洲國通信社則武登吉、蛟河柳樹河鐵道自警村青年訓練所長湊剛男、四平街驛長石井將男、滿洲國國防婦人會龍井分會長小野山スガ、龍井弘中國民優級學校長大和田重光、吉林水力電氣建設局和田喜代治、朝陽川村公署朴京林、安東國民優級學校長劉星伯、開通國民優級學校長楊南郡、樺甸東大街永慶辦經理李滋深

なほこの他奉天管內十五名、哈爾濱管內十六名、錦州管內十五名であつた

鐵管泥棒

市內大同大街四〇二號金法株式會社（責任者中司淸）では十六日夜倉庫內から鐵管百八本ガス管三十本（時價三千圓）を竊取した怪盜の侵入を發見十七日中央通署に屆出た

名作レコードを複製して發賣
滿洲蓄音機の飛躍

娯樂設備の少い滿洲國內ではラヂオの普及に次ぎレコードの賣行は內地人口に比較して正に驚異的な數字を示してをり殊に洋樂の組曲などは日本ビクター、コロンビアの發賣總數の五分の一は滿洲に於て賣捌いてゐる有樣で、從つて滿洲へ輸入される各種レコードは新譜發賣と共に直ちに賣切と云ふ有樣で、レコードファンを歎かせてゐるが、名曲位は充分國內に供給したいとの意向から昨年六百萬圓の資本で設立された滿洲蓄音機株式會社ではビクターコロンビア吹込の原盤を輸入し、同會社工場でプレスし國內販賣に乘り出すことになつた

同會社の工場は原料工場原盤工場、プレス工場と三棟に分け東站區工場地帶に六百萬圓の工費をかけ過般より建築中であるが、大體來月初旬完成の見込で同工場が完成次第名曲の數數が輸入盤より稅金がかゝらなく從つて安く且つ豐富に供給されることになるのでレコードファンにとつては正に一大福音である

「おい、あの女、この店――」「えゝさうよ、二三日前入つたのよ」「どこから來たんだ」「一見妖婦見た人だつて」「まあ口が悪いだなア――」「南京の」「だい、そんなのないわ」「つて君、顔のつくり、姿體から受ける感じはさう見えるね、見えない？とくに腰のあたりの曲線美は魅力が溢れてゐるね」「あら男つて變なところに目をつけるものね、一度話してごらん、案外純情でいい人よ」「人は見かけによらぬものつてふこともあるが、あばずれ見たいだね」▼カフエー亜細亜會館につい二、三日前にデビューした新人ルミ君の颯爽たる姿を目にして客と彼女達との間に交はされる言葉である、いやルミ君はやがて同店のナンバーワンを期待されてゐるだけあつて次々入店しつゝある新人中彼女の姿は客の目に一段鮮かに映ずるらしいのである、そしてあばずれみたいに見られる程彼女は快活で近代型である、どうせは騒がれる女として免れ難い運命を持つてゐるやうだ▼人氣に有頂天になることは破滅の原因となる、自重を望む、言ひ忘れたが彼女はこれからと言ふ張り切り盛りの本年廿二歳とか言つた【寫眞はルミ君】▼興亜建設の人柱として北滿の廣野に散華した皇軍將兵の英靈を迎へる十二日、國都の自粛哀悼日、自粛自戒の一段の徹底を期すると言ふので去る十二日からカフエー業者も料理店、ダンスホールに合流一齊休業哀悼の誠を捧げることゝなつたまことに結構なことではある▼ところがこの日、女給さん達は籠から放たれた小鳥のやうにどつと街に押し出した、喫茶店、活動、割烹それぞれ足は向けられ、夜遲く薄闇の中に彼氏らしいのと、つと寄り添つた情緒纏綿たる姿も拜見したのである▼それもよからう？だがカフエーの休業は延いてはおでん屋、割烹に客足が向けられこの方面は可なりおかげを蒙つたらしい、由來花街、ネオン街業者の休業はこの日酒の閉出しをやらうと言ふ意圖にあるのであつた、にも拘らずおでん割烹に客足が向けられることは何となく不徹底の感じを與へる、のみならず自粛自戒のために休んだ彼女達同伴であることは業者を休業せしめる意圖が奈邊にあるものか見當がつかぬ▼ともあれ内容よりも形式を重じたがるのが、その邊の政策だと言ふなら仕方もないが、業を休むのみが能ぢやアない、働いて働き抜くのも決して時局に反するものではない、休業せなければ自粛哀悼の誠意が表明出來ないと言ふが如き業者にもどこか缺陥があるのぢやあなからうか、大いに考慮すべきことである、まことに理窟ぽいことをご免

東寶、文學座演劇 映畫研究所創設

さきに東寶映畫と國體契約をして文學座の映畫界積極的進出が實現することゝなつたが、今回更らに兩者は一層の緊密なる連絡と協力のもとに「東寶映畫、文學座演劇映畫研究所」の創立を見ることゝなつた、同研究所は新時代に活躍する映畫演劇俳優の養成を目指して積極的に斯界に新人を送り出す目的で、研究所主腦部には森岩雄、岩田豐雄、久保田萬太郎、岸田國士の四氏が當り、本年四月一日開所前に一般から研究生を募集し養成期間は一ヶ年をもつて終了することゝなつてゐる因に講師の顔振れは岸田國士、岩田豐雄、久保田萬太郎、田中千禾夫、森岩雄、山本嘉次郎、島津保次郎、田村秋子、長岡輝子、水木京太、照井榮三、歸山教正等の諸氏が決定してゐる、尚一般應募者に對しては返信料附東寶映畫企畫課へ申込めば規則書を送附する由

滿映製作部現況

=劇決畫=

▽山内組「黎明曙光」近日完成
▽水江組「情海航程」撮影準備中
▽荒牧組「如花美眷」撮影準備中
▽全組(高麗映畫)「福地萬里」錄音中

=文化映畫=

▽新田組「聯合協議會」近日完成
▽新田組「建國杖道」整理中
▽森組「南滿運河」撮影中
▽森組「大松花江」撮影中
▽高原組「冬のバス道路」撮影中
▽高原組「冬の滿洲」北滿ロケ中
▽濱田組「滿洲鐵の都」鞍山ロケ中
▽石野組「皇帝巡狩」編輯中
▽上砂組映畫大觀「建國篇」編輯中
▽高橋組「樂土新蒙古」近日完成(蒙古語版)
▽大谷組「我們的軍隊」改訂版編輯中
▽石野組映畫大觀「林業篇」編輯中
▽上砂組「躍進吉林省」撮影中

▽とらんぷ譚▽

佛トビス映畫、フランス劇壇の異才で映畫にも獨歩の境地を拓いてゐるサッシャ・ギトリイの原、脚、監、且主演を勤めてゐる映畫、日本版は徳川夢聲がアナウンスして「世は逆さま」といふ、この言葉を身を以て體驗した男の數奇な物語りを語る、キネマ旬報昨年度洋畫ベストテン第九位に入つてゐる、豐劇に二十日より再上映

雑音

數日前のお晝の演藝に新京の藝妓二名(名は秘す)が義太夫「壷坂」を而も彈き語りで放送してゐた▼新京にも義太夫の彈き語りを放送する程の姐さんもあるのかと頼もしく思つてスイッチを入れてみてうんざりしたことだ、とても最後迄聴く勇氣がなくて失禮とは思つたが、中途でスイッチを切つて了つた▼大體、彈き語りといふものは非常にむづかしいもので、語る方に夢中になれば三味の方がおるすになり三味に力を入れると語る方がおかしく、その上懸聲をかけねばならないのであるから義太夫の彈き語りといふ奴はこの道では至難とされてゐるものだ▼特に當日の義太夫は一番肝腎な盲目の澤一が眼が開いて觀音様の御利益に感泣する「觀音の……」から連れ彈きとなつてゐるのであるがこの連れ彈きが一番聴くに堪へないものであつた▼なにしろ間にか二の糸が下つて了つてゐて、そこへ最初合せて置いた三味で連れ彈きをしたのだから一致する筈がない、勿論放送の御兩人もその事ではさぞかし苦慮したことであらうと思はれるが餘程の名人でも彈き語りか連れ彈きは鬼門としてゐるのだから、御兩人の放送した勇氣だけは買つておから▼放送局あたり充分考慮して欲しいものである

（大正九年十一月二十日第三種郵便物認可）

新京日日新聞　朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河
編輯人　和波
印刷人　水越内之介

農産物（大豆等六品目）收買價格
全面的に引上げ
政府、十八日から斷行

政府は昨秋以來大豆を始め主要糧穀につき公定價格制を實施すると共に對日並に對北中支向輸出に當つても協定價格制を實施して來たが、最近に於ける世界物價水準は大體三割程度の昂騰を示し、また日本よりの對滿輸出品價格も滿洲國側の對日特産輸出價格に比すれば平均して三割以上の騰貴を示してゐるのでこの際かかる國内價格と國外價格との不均衡を調整することは國内增産對策の圓滑なる遂行を期する上から言つても、また從來兎角不圓滑であつた特産出廻りを促進する上から言つても刻下の最大急務であるので政府は春耕期を控へて十八日別項政府發表の如く大豆以下六品目に對する現行收買價格の改正引上げを斷行することとなつた、右收買價格は來る九月以降の新特産年度に於ける新穀に適用されると共に舊穀にも適用されるもので、これが改正の基準は大豆の八圓五十錢（現行公定價格に比し一圓五十錢約二割高）を基準として他の高粱、包米、精白粟、小麥、粿等につき適當なるバランスを採つたものである偶麻袋配給價格を從來の六十五錢より一圓五十錢に大幅引上げを行つたことは輸入價格の値上りによるものである

收買價格引上げに伴ひ政府は收買地に於ける大豆及主要糧穀の卸賣價格を原則として收買價格と同一に公定實施することに決定したが右は從來收買地に於ける卸賣價格が公定されてゐなかつたゝめ地場相場は卸、小賣價格共に不當な値上りを示し延いて出廻りを阻害してゐた禍根を一掃せんとする目的に出でたもので、これより糧穀會社の負擔は相當額に上るもの丶輿地出廻り促進策としては相當效果あるものとして期待されてゐる

新年度增産確保と舊穀の出廻り促進
政府發表

政府は曩に經濟建設の促進と國民生活の安定に資する爲重要特産物及主要糧穀の收買價格を公定したのであるが本年春耕期を控へ其の後の内外情勢の變化を考慮し新穀收買價格の引上を斷行し農民をして勇んで耕作に專念せしむべき目標を與へ新年度に於ける增産を確保することにした、今や糧穀の增産及其の圓滑なる供給は國の内外を通ずる重大問題となり其の解決は我國に期待せらるる處が最も大である農家及一般國民は此の使命を自覺し協力同心進んで增産に精勵すると共に蒐貨及配給の圓滑化に協力せられんことを切望する次第である

收買卸賣兩價格は同一

今回の大豆以下主要糧穀の

一、本年度春耕期を控へて新年度に於ける增産を確保する爲此の際新穀收買價格を決定發表するを必要と認め内外物價の情勢に鑑み之を左の如く適正に引上ぐることとし尚右に伴ひ舊穀の出廻りを圓滑ならしむる爲康德六年度産穀に付ても右價格に依り收買するものとし二月十八日より之を實施することとした

品目	單位	條件	價格
大豆	百斤に付	大連袋入	八、五〇
高粱	百斤に付	大連裸	六、七〇
包米	百斤に付	大連裸	六、九〇
精白粟	百斤に付	大連裸	一一、〇〇
小麥	百斤に付	哈爾濱・齊々哈爾・牡丹江裸	一一、五〇
粿	百瓩に付	全滿驛着	一六、五〇

二、麻袋の公定價格も右と同時に之を一枚一圓五十錢に引上げ實施すること
とした

三、大豆及主要糧穀に付ては收買地に於ける卸賣價格を原則として收買價格と同一に公定し實施することとした

四、小豆、黍、稗、蕎麥、胡麻、落花生、蓖麻子、小麻子等の雜穀類に付ても主要糧穀に準じたる統制を行ふこととし速に夫々の價格を決定發表することとする

五、本件は政府に於て國内農産物增産及蒐貨の健全なる運行に付愼重考慮の結果實施するものであつて中央地方の政府各機關は全力を擧げ之が目的達成に努力し苟も間然することなきを期する豫定であるから民間各方面に於ても右の趣旨を諒し今後全面的の協力を爲されん事を切望するものである

張總理談

農産物收買價格引上げに當り張國務總理は左の如き談

戰利品を持つて（6）

税制改正委員會

【東京國通】十六日の衆議院の税制改正委員會における質疑左の如し

▲櫻井兵五郎氏（民政）この修正案は支那事變のみを目標とするものであるか

▲櫻內藏相　彈力性を持たしめる一方有事の必要にも備へ得る仕組となつてゐるが、現在は支那事變に對應する新秩序建設を目標としてゐる

▲櫻井氏　平年度五億圓增收を目標に置いた理由如何

▲櫻內藏相　經濟界の現狀から見てこの程度の增税は大なる變動を與へず刻下の經濟上からも適當と認めて定めた

▲櫻井氏　彈力性の尺度はなんであるか

▲櫻內藏相　日本の經濟力を考慮し税率については公債の利廻り等を考へて定めた

▲大矢主税局長　日本の國民所得額は大體第三種所得税のみを以て推算すれば第三種所得税は昭和十一年廿七億圓、十二年三十二億圓、十三年四十二億圓、十四年五十億圓である、工場生産指數を以てすれば昭和十一年百四十二億圓、十二年百六十四億圓、十三年百九十四億圓である

▲櫻井氏　差引若干の餘裕を持たせる必要はないか

▲米內首相　國民の負擔が更に增加する場合でも國民の愛國心からその負擔に耐へることを信じてゐるこの改正案を彈力性あり、また將來に必要あり、時代に適合するものと思ふ

▲櫻內藏相　國民の負擔力と生産擴充を阻碍しないといふことの双方を考慮して立案した

▲櫻井氏　支那事變特別税を恒久税に編入した理由如何

▲櫻內藏相　事變が長期戰化して國費の膨脹も當分續くものとの見地から立案したのである

▲櫻井氏　臨時所得税をなぜ恒久税としなかつた

▲大矢局長　立法的技術上恒久税に纏めることは困難である

▲櫻井氏　甲種昭和四、五、六基準年度を廢した理由如何

▲大矢局長　數年も前に遡ることになつては餘り古くなるから廢したのみである

▲櫻井氏　增税額中だけ臨時軍事費に入れられるか

▲大矢局長　六億圓入れられる

▲櫻井氏　その根據は分類、綜合兩所得税を中心とする

▲大矢局長　一般會計でも軍備充實等の增加するのと辨か增加税の十二億圓は軍事費に繰り入れることゝなつた、增加とも思はぬが、增加は分類所得税によることが多いと思ふ

▲櫻井氏　綜合所得の限度を五千圓に意思なきや

▲櫻內藏相　今日の見地で五千圓なら入るものとし

軍事援護、優遇法兩要綱內容發表

國土防衛上劃期的制度たる兵役制度は明年三月下旬頃に關係諸法令を公布し六月一日より實施する豫定であるが政府は兵役制度施行と共に軍人、軍屬、軍夫を對象とする軍事援護ならびに軍事優遇方法について人民總服役制度審議委員會總務分科會第四班（吉本主査）において愼重審議を遂げた結果、この程要綱が出來上つたので近く所定の手續きを經て公布實施することゝなつた、兩要綱案の大要は左の如くである

軍事援護法

▽對象（イ）入隊中の兵、若しくは應召中の軍士、又は其の家族（ロ）除隊若しくは召集解除せられたる軍士兵、又はその家族（ハ）傷病軍士兵、又はその家族又は遺族（ニ）入隊又は應召中に戰鬪又は公務により死歿せる軍士兵の遺族（ホ）戰鬪又は公務により傷痍を受けたる軍官、軍屬、若しくはその遺家族又は死歿せる軍官、軍屬の遺族（ヘ）軍事のため徵用せられたる者、又はその家族若しくは遺族

▽種類及び方法（イ）生活扶助（ロ）醫療扶助（ハ）生業扶助（ニ）助産（ホ）臨時生活扶助（ヘ）葬儀扶助（ト）教育扶助（チ）保育（リ）職業扶助（ヌ）收入保證（ル）職業保證（ヲ）資金融通（ワ）公共負擔の減免（カ）交通費の減免（ヨ）使用料の減免（タ）援護金品の保護（レ）慰問（ソ）人事相談

▽實施機關　政府、協和會、滿洲軍人後援會、滿洲國赤十字社、滿洲國防婦人會、社會事業實施機關

軍事優遇法

▽對象（イ）入隊したる兵の家族及び應召したる軍人又は徵用せられたる家族（ロ）除隊したる兵、召集解除せられたる軍人及び傷病軍人並に其の家族（ハ）公務若は戰鬪により死歿せる軍人、軍屬又は軍夫遺族

▽方法及び種類（イ）名譽章標交付（ロ）名譽章の交付（ハ）遺族徽章授與（ニ）軍服給與（ホ）就職優先權の附與（ヘ）遺家族の就職優先權の附權（ト）特殊初任給の設定（チ）入隊前の採用決定（リ）優先就職（ヌ）原隊參集（ル）遺家族の優先就學（オ）公葬（ワ）寫眞の揭示（カ）國民的行事參列（ヨ）國民各會合儀式參列（タ）公共營造物の入場料免除（レ）入植の優先權附與（ソ）家畜の貸與（ツ）特別恩給制度の實施

日滿の不可分强化
滿洲開拓民の目的（拓相說明）

【東京國通】十七日の豫算分科會（拓務省）で滿洲開拓民の目的に關し山本厚三氏（民）が質したるに對し小磯拓相は左の如く答辯して政府の所信を明かにした

滿洲開拓民については同事變直後武裝開拓民を決定し當時は多少さういふ意味もあつたが、現在では國境警備の意味はない滿洲開拓民の目的は日滿不可分關係の强化、五族協和の中核實現にあるので、過剩人口の處理といふことはない【寫眞は小磯拓相】

南方政策

【東京國通】小磯拓相は十七日の衆議院豫算第一分科會（拓務）において山本厚三氏（民）の質問に對し政府の南方政策に關し左の如く所信を述べた

政府としては資源獲得および市場開拓の見地から重大關心をもつてゐるので臺灣、南洋を基底として平和的經濟的に進出したいと考へてゐる、大南支、海峽植民地、蘭印度などを對象として民によらず事業會社を通じて經濟的に進出したいと思ひまづ完全なる調査機關の充實を圖る豫定である、また海南島は陸外三省および興亞院でやつてゐるが、拓務省としても臺灣總督府を通じ積極的に協力してゐる

紀元二千六百年記念事業
本社主催・協和會首都本部後援
建國功勞者物語募集

わが滿洲帝國は建國以來すでに八星霜を閲し國運愈々隆昌、民族協和の美しき展開の中に諸般の建設を推し進めつゝあり、本年は友邦日本帝國の輝かしい紀元二千六百年に際會し鞏き契りに同慶の喜びを深うした。かゝる時既往を回顧し建國の大業に粉骨碎身せる先人の業績を偲び以て將來のための訓鑑とすることは甚だ意義深きことであらう。肇國草創の際世事多端でありためになほ功勞多大にして世に埋もれひろく知らるゝことなく打ち過ぎてゐるものも多々あるであらう。かゝる功業が一般に知られずして忘却されるやうなことがあつては甚だ遺憾であるとせねばならぬ。本社は茲に鑑み日本紀元二千六百年奉祝事業として今回別項規定により隱れたる建國功勞者の實話讀物を公募し銓衡の上優れたるものを表彰し發表なほ單行本として刊行することとした。本企畫の趣旨に贊同あり貴重なる資料に基き振つて寄稿あらんことを切に希望する次第である。

應募規定

一、原稿は滿洲建國當初より今日までに至る間のかくれたる建國功勞者（民族別を問はず）の事實を主としたる一般的讀みもの（日滿支何れにても可、滿文は本社に於て日譯す）

一、應募原稿には主題人物の寫眞、その他資料となるべき寫眞をなるべく添附すること

一、應募原稿は四百字詰二十枚を基準とす

一、原稿送り先　新京日日新聞社宛とし「建國功勞者物語原稿」と朱書のこと

一、〆切　三月末日

一、發表　四月中（本紙上）

一、審査　關係方面代表により審査委員會を置き同會に於て銓衡す（右については追つて發表）

一、賞金

等級	篇數	賞金	副賞
一等	一篇	二百圓	カップ一箇
二等	二篇	五十圓	カップ一箇
三等	三篇	二十圓	記念品

佳作十篇　副賞　記念品贈呈

一、著作權は本社に歸屬し原稿は一切返却せず

豫算第三分科會

【東京國通】北支の聯銀券中支の華興券および軍票ならびに法幣との關係調整につき櫻內藏相、日高興亞院經濟部長は十七日衆議院の豫算第三分科會に於て左の如く當局の所信を言明した

▲櫻內藏相　現在の聯銀券との圓元パーの關係を改めることは聯銀券の價値を暴落せしめることは明白で、日本としてはこの圓元パーの關係を維持して日支兩國の經濟關係を調整して行く方針であるもとよりこの結果わが國の物資が北支に流出することは已むを得ないがそれを防止するのは円と聯銀券との爲替關係によらず別の方法をもつて管理統制する方針である、現在北支に出てゐる日本の物資は主として生活必需品および經濟開發資材に局限されてゐるので、これらの資材が出る結果はやがて北支から日本に向け物資が供給されることになる前提であると期待をかけてゐる、現在のところ日本としては聯銀券の信用を高めることに協力し圓元パーの關係については聯銀券の信用が相當程度高まつたとき改めて考慮すべきものと考へてゐる

▲日高經濟部長　一、法幣は重慶政權がその發行權を有しまたその爲替資金も重慶政權の手中にある通貨であるが幣制としては經濟生活に激變を來たさず、また支那人の生活面に即して考へる事が必要であるとの建前から中支では軍票のほか法幣の流通を認めてゐる

社說

蔣政權の搾取振り

重慶の國民政府は色々の方策を講じて支那國民をその傘下に糾合することに努めてゐる。だがそれは果してどの程度に成功してゐるであらうか。彼等が叫ぶ所は果して實際に行はれてゐるであらうか。

種々の事象を通じて第一に指摘出來ることは、民衆に課してゐる經濟的負擔が事變後急速に全面的に重くなつてゐるといふことであらう。それには先づ禁制であつた筈の苛捐雜税が非常に増加してゐるのである。たとへば廣東省欽縣に於ける實例について見ると、省政府財政廳の認可を經た税目が五十四種、この外認可を申請せずして徴收してゐる税目が百十餘種に達するといふ實情で、丁口捐、牛捐、公秤捐、渡捐、船頭捐、鋪戸捐、草鞋捐、米斗捐、穀米捐、花生捐、魚蝦捐、特產出口捐等々がその一斑の例である。次には地租の過重といふことをあげ得る。蔣介石のお膝下である四川の宜賓縣に一例を取つて見ると、六十畝に對して一兩これを換算すれば十五元餘、昨年度はこの正税を春秋二回徴收したほかに、地方附加税十割、保甲捐十割、保安捐十割、國難捐九割、合計して基礎税率の五十九割即ち六十一、日本の約一段の農家は地租だけでも九十元以上納付しなければならないのである。次には戰時諸經費の賦課がある。これも重慶に程遠くない湖北省利川縣の一實例を見ると、僅か六千戸の或る村で三千三百元の救國公債を引受けさせられた以外に、航空會費百二十元、郷鎭電話設置費六百四十元、軍事訓練食費一千四百四十元、剿匪費三百六十元、廳捐税六百元等の外に、聯防費、保甲通信費、彈壓費、軍士招待費、追悼會費、委員車馬費、閲報費等合計七八千元の新しい負擔が事變後に增徴されてゐるといふのである。このやうな例は重慶附近に限つたことでなく、全面的に且つ集約的に實施されて居るのが現下蔣政權の財政政策の特徴なのである。

軍閥打倒、地方政權の中央化運動は近年蔣政權の重要な一目標であつた。ところが事變の進展に伴つて中央の政策が要人軍閥の私經濟と矛盾を生ずるに至つたので、民衆に對してはあくまで強引で行く蔣政權も要人軍閥に對しては妥協苟合の策を取つてゐるのである。雲南省の輸出品代價から百五十萬ポンドを同省軍閥に外國爲替のまゝ引渡すといふ如き、奇怪極まることまでやつてゐるのである。末期的症狀は蔽へぬまでになつて來たのである。

綏遠、廣西を覆滅
敵の抗戰力粉碎
九日—十六日の戰況

【南京十六日發國通】支那派遣軍報道部二月十六日午後三時發表＝二月九日以降本日に至るまでの支那事變戰況の概要左の如し

一般狀況

全支戰況の白眉たりし五原を中心とする綏遠省の大潰滅戰および賓陽を中軸とする廣西省の大潰滅戰は共に今週において豫期以上の成功裡に作戰目的を達し敵の抗戰力を破碎するに至つた、しかして今次兩作戰は共に地域の獲得を目的とせず一は西北敵軍據點を潰滅し、一は南寧奪還を豪語する敵大軍をして抗戰の無效を自認せしめるのが目的であつた、したがつて作戰の目的達成に伴ひ北支に於ては作戰開始前の態勢に復歸し南支に於ては兵力を集結し次期作戰に應ずるの態勢をとるに至つた、これに對し重慶側は頻りに「日本軍擊退被占領地奪回」のデマ宣傳を行ひ第三國および國內民衆に對して戰捷宣傳の押賣をなさんとしてゐるが、斯の如きは大敗戰を糊塗しつつ第三國の憐憫に頼り國內民衆の抗戰意識に頼らんとする重慶苦悶の象徵に過ぎず、わが方よりみれば笑止に堪へぬものである

北支軍は「こゝに作戰目的を完遂せるをもつてひとまづ兵を撤することとせり、若しそれ敵軍にしてなほ蠢動を企圖し再びわれを窺はんとする如きあらば斷じて之を赦さず隨時反復出動して直ちにこれを擊滅するのみ」と述べ南支派遣軍また蔣介石、陳誠、白崇禧、張發奎等の敗戰將校に長文の通電を發して「軍は何時にても起つて敵軍主力を擊滅すべき用意ある」事を闡明して敵軍を慴伏せしめた、次に中支方面に於ては揚子江上流地區の敵はわが武威に壓せられ敵の局部的反抗もことごとく擊退せられた、浙東方面においてはさきにわが軍の占領したる錢塘江南岸蕭山に對し敵は頻りに反抗奪回の機を狙つてをつたが十四日夜半わが方は機先を制して突如新行動を開始し進擊を續けてゐる、最後に今週において特異なる戰況は福建省沿岸に奇襲上陸した黄大偉將軍の和平建國軍の作戰で新政府の誕生の胎動に呼應する汪精衞氏側の支那軍が雄々しき進擊を開始したものだけに和平建國軍の積極性を看取することが出來る、地域的に見た戰況を細述すれば

北支方面

西北敵軍の據點覆滅を目指して一月末來綏遠省に展開した大掃滅戰は疾風の如き皇軍の快速進擊によつて二月三日五原を、四日臨河を五日善霸をそれぞれ攻略し去つた、この三要衝陷落によつて敵全軍は文字通り雪崩を打つて潰走し老山山系及び五家河の線或ひは寧夏省境に遁走を續けたがわが精鋭部隊は追擊の鋒を收めず九日石黒部隊が澁共武廟下の百一師を捕捉潰滅的打擊を與へたのを始めとして各所において戰意を喪失して彷徨しつつある敵に痛擊を加へ更にこの地上部隊に呼應する陸鷲また巨彈を浴せた

かくて綏遠省西北に蟠居した敵軍權、政權を共に覆滅し本作戰は豫期以上の戰果を收めて目的を完遂するに至つたゝめ各快速部隊は十二日以降逐次作戰前の態勢に復歸し再度敵軍蠢動せば反覆出擊すべく待機睥睨しつゝある、今次作戰における敵の兵力は傅作義、門炳岳及び馬鴻賓等の麾下約三萬でこれらは支離滅裂の潰亂に陷り寧夏省方面或は黄河南岸の伊克昭盟內に遁走五原平地一帶は敵影を見ざるに至つた

中支方面

イ、武漢周邊地區においては川俣、加藤、窓野、吉川の各部隊が六日以來九日まで湖北省隨縣南方の洛陽店附近の敵第五十六師を猛攻潰走せしめ、また九江西南方瑞昌東方の敵集團に對しては七日以來井出隊が粉碎、更に京漢線花園、大別山麓の敵は十一日〇〇部隊により掃蕩された、なほ南潯鐵道北側瑞昌南方地帶の敵人民自衛軍約六百名と第百四十一師第四十二團の約五百名はそれぞれ中隊長に引率され七日投降して來たがこれも敵の戰意喪失を物語るものである

ロ、浙東某地に待機中の小村、伊藤、北園等の諸部隊は十四日夜半突如行動を開始し蕭山東方龍山及び西南方臨浦鎭一帶の山岳に據る敵大軍を攻擊、敵線を突破して急進中である

南支方面

イ、賓陽周邊隨所に大潰滅戰を完成したわが軍は六日以來反轉を開始したが賓陽西南方より松本、笠間、相田、福田、角田、坪井の諸部隊は八日下施村附近で敗敵三千に遭遇したのを始め九日朝にかけ各所に彷徨する敵の小集團を發見し何れもこれを擊滅した、また賓陽東南方四〇キロの黍塘圩附近では野溝、小川、石原の各部隊が七日より八日に亘り第百五十六師、第百七十五師、第百五師の敵六千を痛擊、敵は屍體二千を殘し敗亂、一方武鳴平地に進出した原田、渡邊、末次、林、松本、坂田等の諸部隊は八日五千の殘敵を發見しこれを擊破した、かくの如く驚異的戰果を收めた大潰滅戰の殊勳部隊は悠々凱歌を奏しつゝ十二日某方面に集結を完了した

ロ、黄大偉將軍麾下の和平建國軍は十二日早朝わが陸海軍の協力下に突如として福建省東山沿岸に奇襲上陸を敢行し同地警備の關係及び保安隊數百及び敵第七十五師第四十九團を擊破しさらに十三日午後二時わが陸海の援護砲擊間隙戰を展開し遂に午後六時敵第七十五師の據點東山縣城を占領した、十五日拂曉敵は東山縣城奪回を目指して逆襲し來つたが建國軍は陸鷲援護下に擊退した

陸軍航空部隊

イ、高田部隊は九、十、十一に亘り西北作戰に協力、うち一日は神納致廟、阿善廟（共に臨河東南方）附近に集結中の敵部隊及び傅作義軍司令部を爆擊、十一日は鹽海子東方及び北方の傅作義、門炳岳軍を奇襲

ロ、杉本部隊は山東省方面に活躍し八日王家庄（莱陽北方約三〇キロ）附近の敵五百を、九日古城東附近の敵を、十日海軍機と協力し沙江の敵を、十二日馬石店北方谷地の敵を爆碎す

ハ、川村部隊は太湖西南地區に飛び八、九、十の三日に亘り杭州西北地區を十一、十三の兩日には錢塘南方各地の敵情並に地形搜索に任ず

ニ、今西部隊は八日京漢線花園東南の敵を爆擊、また江西省東部玉山飛行場を攻擊、九日增樹嶺、塔面嶺（湖北省公安附近）方面の敵部隊を爆擊別に浙東に飛び諸の敵軍需品集積所を爆擊す

ホ、田中部隊は九日馬當及び桑園、金華を爆擊、十日蘭溪及び桐廬（共に浙江省）を、十一日河曲（山西省）を爆擊す

へ、南支方面に於て石川部隊は十五日東山の和平建國軍に協力し逆襲の敵を爆擊す

蔣政權の消滅で
日支紛爭は終末
ピゴット少將演說

【ロンドン十六日發國通】多年日本に在勤し極東通として知られる前駐日英大使館附武官ピゴット少將は十六日のチヤタム・ハウスにおけるイギリス國際問題調査會の席上日本を繞る國際情勢に關し一場の演說を試み日本の東亞新秩序建設の意圖を說明すると共に日支紛爭は早晚蔣政權の消滅をもつて終幕を告げるであらうと言明し、つゞいて得意の親日論を披瀝した、演說要旨つぎの通り

□　□

余は日支紛爭はいまや第一面ニユースたる重要性を失ひつゝあり

早晚 蔣政權の消滅をもつて結末を告げるものと信ずるが日本が勝利を得るとの余の見透しはつぎの三つの理由に基くものである

一、日本の陸軍は今日曾てなきまでに強力となつてゐる

一、事變が日本自身に與へてゐる打擊はたゞ石炭、棉花、石油などの不足を除けばさして顯著なものではない

一、日本が今日まで贏ち得て來た臺灣、朝鮮、滿洲における成功は更にまた支那においても同樣の成功を收めしめるであらう、日本の東亞新秩序の意味するところは日本の善隣國としての新支那の建設および北支における經濟的權益を確保せんとしてゐることに盡きる

寬容 日英關係は昨夏天津問題を繞つて惡化の頂點にあつたが淺間丸事件の解決以來兩國關係は改善されつゝある、余はその改善が兩國の恒久的な友好關係に發展することを切望する、日本國民は武力の前には一歩も讓らないが友情の前には殆ど何物をも殘さない寬容性をさへ示す國民である、われわれは今後一層日本國民を理解し日本國民と愛情によつて結ばれるべく誠意を以て臨まねばならぬ

滬西越界路の
警察權問題解決
特別市、共同租界間で調印

【上海十六日發國通】昨年八月滬西ゼスフキールド路上で發生したキンロック事件を端緒として爾來上海特別市政府及び共同租界工部局間に折衝を重ねつつあつた滬西越界路問題に關しては同年九月十五日より廿數回に亘る折衝の結果この程兩者間に同問題は行政權と警察權を分離し警察權のみに關し差當り解決を圖ることに意見一致し協定成立をみるに至つたので十六日午後六時上海特別市政府に於いてフイリップ事務總長並にわが三浦上海總領事列席の下に上海特別市長傅宗耀氏、共同租界參事會議長フランクリン氏との間に暫定取決の調印を了した

支那事變と猶太人
英の對日苦肉策
支那事變に現はれた敵性
（五）

然るに近年英の朝野を驚かし長夜の一夢を破らせたのは我が日本の勃興である、我が貿易の進出である、長江の流域は日々形勢を改めた。就中世界大戰後の我が躍進振は歐米人の心膽を寒からしめた、故に

歐米 の對日策は頓に辛辣陰險となり一意專心我が發展を抑へ國力を低める事に

集中された、華府會議以來我が國人をして擧つて切齒扼腕憤慨措く能はざらしむるものは皆その策動の現れである、英國は斷然對支對日策を改めた、先づ第一に國內の摩擦相剋に注意を拂ひ猶太人の融和に心を碎くやうになつた、支那に於ては政治と經濟との不可分なるを本義としてその階調に努め出した、此時に方りサッスーンは悠然として舞臺に現れた、彼の炯眼は能く

時勢 を察し彼の機略は支那を籠蓋するに餘りあつた

經濟建設の遲れたのは彼の力與つて多きにある、英國はこれを原則に支持しつゝ本腰になつて支那に乘り出した、斯くして大使ヒユーゲッセンが赴任した、大使は猶太人にしてサッスーンと同氣相求めて同盟相應じ內は國人の團結を固め外は國民政府に威壓を加へ盛んに權益を獲得した、英國國威の盛んなりしこと當時の如きはなく蓋し絕頂期であつたらう。英の對日政策は明治以來幾多の

變遷 を見、我等をして其の豹變の甚しきに憫かせるが英國より觀れば終始一貫少しも變つてゐない。即ち萬事英國第一主義で何も彼も英國本位で打算し英國の利とする所を取り害とする所を捨てる迄である。之がために昨日の敵が今日の味方となつても今日の同盟を明日取消さうとも構はない又其の政治家外交家は只一言英國の爲めに忠實に謀つたとさへ言へばそれで宜いのである、何をしてもこの一言で片が付き責任を問はれないで濟む、是が傳統的方針で且つ國民の外交常識である、英露の抗爭が激しければ進んで日英同盟を結んでも亦夫で米國の

機嫌 が惡くなれば之を解消しても平氣である、世界戰爭でも百方我が意を迎へたが媾和の後は直ちに山東返還を強ひ華府會議、倫敦會議では繼續的意思を以て我が海軍力制限に努めシムラ協定以來の協定は一として我が貿易抑制を企てざるはない、その間常に支那の抗日運動を支持し排日を煽動してをつた、英の對日政策は不戰勝利と無流血勝利を本旨とする、即ち我が海軍力を

制限 して彼より劣勢と爲し戰へば必ず敗け、到底勝負を爭ふ餘地のない樣に企む。また我が貿易その他國本培養となるべきものを制限して財力上到底戰鬪出來ぬ樣にする、結局否應なしに屈服せしむるにある「日本よ汝偉くなるな、偉くならうとすれば虐めるぞ」の態度である、今回の支那事變で之が一層明かになつた、事茲に至つては我も亦覺悟を決めねばなるまい、支那幣制の

亂脈 せるは世界廣しと雖も全く他に類がない、先づ硬貨には大洋あり小洋あり銅錢ありで複雜なる許りでなくその間に厄介な打步がある、紙幣を大別して中央的と地方的とに分ち、中央的とは便宜上中國銀行、中央銀行、交通銀行等中央政府と特別關係ある銀行券を指すことゝする、中央的の銀行券と雖も全國遍く流通する譯でなく區域を限つて通用されるのである、況んや地方銀行券の如きは當然現地的流通である、その

不便 言語に絕するが政府に實力が無い爲め久しく改革されなかつた、また事情通は一般に銀貨好きの支那人から銀貨を奪ふのは人情を知らぬ空想だと云つて話題にも載せなかつた、國民政府は英國の支援の下に昨年春硬貨を廢めて一切紙幣としてこれを全國一般に通用させるべく幣制改革を行つたがその立役者はサッスーンである、昭和十年五月E・Dサッスーンは倫敦會議に列席すると稱して米國に渡りバンクーバーに到つたとき病に罹つた、仍て旅程を變更し

米國 の猶太財閥と協議し、更にリース・ロス（猶太人）を英國より呼寄せ一切萬端の打合せを遂げて後歸つて幣制改革を發表した、勿論以前に英國側と十分の協議を盡し大方針を決したのに相違ない、元來この改革は英國に依存するといふよりも英國の統制下に支那の幣制を置いたといふ方が宜しい、故に英國は非常な意氣込みでこれを援助し特に監督官としてリース・ロスを派遣させた、彼は英國政府の財政顧問を兼ねてゐる、事密ならざれば成らずとの諺の如く猶太人が斯る

大事 を秘密裡に成就させたのは全く以て感心の外ない、支那がこれがために俄かに中國農民銀行を創立して發券銀行とし英國は直ちに之をクレヂット銀行に指定して援助の意思を明かにした。

秩序正常に復した時
事變の終熄なり
柳川長官分科會で言明

【東京國通】支那新政府の樹立と支那事變の終了、東亞新秩序建設との關係につき柳川興亞院總務長官は十七日の衆議院豫算第三分科會に於て中島彌團次氏の質問に對し左の如く言明した

一、支那事變の終熄は支那がわが主張に屈服してその秩序が正常に復する時である、これを具體的に言へば重慶政權が媾和を申込んで來るか或は自から解體して新中央政府の傘下に來り投ずるか、さう云ふやうな過程を經てわが軍が陸海共に大なる部隊を戰線に止める必要がなくなるに至つた時である、それは何日になるかは新政府の發達充實によつて決まる問題であるがわが國としては新政府に對して出來る限りの協力を與へてその實力を發揮するやう努力してゐるから時日の經つに從つてこの目的が達成されることと信ずる

二、重慶政權を新政府の傘下に來たらしめるか、又はこれと合作協力せしめるためには如何なる工作を行つてゐるかはこゝで明言することが出來ないが、中央政府が設立されたる現在、又現在既に存在してゐる各地方の政權の發達及びこれに呼應しての活動が大いにわが軍の活動を導くものと思はれる、從つて重慶政權が新政府と協力合作するに至る見込は無いことはない

三、わが國は曩に蔣介石を相手にせずと聲明したがこの相手にせずの程度が如何なるものであるにもせよ現にわが國はこれと戰爭中であるからこの戰爭の結果として重慶政權が新中央政府と同じ方向を辿るに至れば自然兩者は合流することになる

事變處理方針
質問は廿一日

【東京國通】政府は十五日衆議院本會議秘密會において事變處理方針に關する說明を行つたが、その際質問を許さなかつたので衆議院では十七日各派交渉會を開き協議の結果、右に關する質問は總豫算案決定を見る二十一日の豫算總會において行ふことに決定した

改正後租稅は
所得の十七%
大矢局長、稅制委員會で說明

【東京國通】わが國の國民所得額とこれに對する租稅收入の割合につき十七日の衆議院稅制改正法案委員會席上大矢主稅局長は左の如く說明した

第三種所得決定額より計算し現在國民所得額は二百五十五億圓であるが、これに對し國稅、地方稅及び專賣益金等の合計額は現行稅法の下において三十八億圓であるから國民所得に對する租稅收入の割合は十五パーセントとなる、而して今回の稅制改革が實施されると租稅收入は平年度四十五億圓となるから改正後は國民所得に對して十七パーセントとならう

對日禁輸 多分あるまい
有田外相情勢を說明

【東京國通】十六日午後の衆議院豫算第一分科會に於て有田外相は米國の對日禁輸問題につき左の如く所信を表明した

目下米國上院外交委員會に提出されてゐる對日禁輸案の審議が延期されることになつたと傳へられてゐるが、これは日本の對米空氣が歐洲情勢をも反映したものと思ふ、併し一方國內禁輸論は相當根強いものがあるからこれから先どうなるかは今後の日米關係に依つて支配されてくのではないかと考へてゐる、而して今後の日米關係については日本の自主的立場から見て當然解決すべきものはどんどん解決して行くべきだと考へてゐる又米國としても支那に於て大規模の戰鬪行爲が存在することは認識してその申出でにも何等かの節度を加へるやうにならねばならぬと思ふ、恐らく米國にも識者があること故さう深みにまで突き進んでは來ないのではないかと思はれる、對日禁輸をやればどうなるかは禁輸を口にしてゐる人々でも最後になれば考へざるを得ないであらうから對日禁輸は使嗾で結局やらないのではないかと考へ得られる、併し時の勢と言ふものがあるから決して樂觀は許されぬ、要するに日米兩國民の自制自肅に俟つ外はないと考へてゐる

新政府成立後の
自立活動へ援助

【東京國通】柳川興亞院總務長官及び日高經濟部長は十六日の衆議院豫算第三分科會（大藏）席上、水谷長三郎氏（社）の質問に答へて新中央政府の內面的指導力及び財政經濟的基礎並に軍票價値維持方策に關し左の如き所見を述べた

新政府の指導 目下作戰進行中であるから最初の間は軍事上、政治上、經濟上の指導は軍がこれに當るの外はないがなるべく早く彼等自身が政治力を動かし得るやう援助して行く考へであつて目下新政府成立後に於ける各種の場合を考慮して種々準備を進めてゐる

新政府の財政經濟的基礎 今日までの變則的な狀況を脱し支那人の資金及び物資が動き出して來ることが肝要でこの意味から奧地の物資が順調に出廻るやうに努めねばならぬ

軍票の價値維持方策 軍事行動の繼續と支那民衆の生活に關係があるので慎重對策を講じてゐるが、要するに有效な地域に動いて行くことが根本と考へられる、實際上上海市場に於ける軍票の價値が奧地に於ける價値維持にも影響するのであるから、治安維持と物資供給と併行してその價値の安定に努力する方針である

空軍獨立不贊成
と吉田海相言明

【東京國通】十六日の衆議院豫算第四分科會（海軍省所管）で中島彌團次氏（民政）より單價引上げの內容について說明を求めたに對し武井經理局長から十三年度に比し六步の單價引下げを實現し得たる旨を述べたが、更に篠原陸朗氏（民政）より空軍の獨立問題、科學的研究問題などにつき質問したるに對し吉田海相、武井經理局長よりそれぞれ答辯があつたが空軍獨立に不贊成なる旨左の如く述べた

吉田海相　現在の海軍航空部隊が海軍と分離して獨立することは贊成出來ない、勿論各國の國情によつて異るけれども大體に於て各國の傾向としては海軍の必要なる航空部隊は海軍で持つと言ふ方向に動いてゐる、從つて海軍としては持つてゐる航空部隊は海軍作戰に必須の兵力の一部である、今日艦艇の建造費には特に目新しい變化はないが部分的に見るならば多少考慮を拂はなければならぬ點もある、航空機も海軍兵力の一部となりこれを包含した全體が海軍兵力となり發達したと概念的に見て差支へないと思ふ、なほ科學的研究は今後益々考へなければならぬことは當然で各國とも研究內容を極秘に附してゐるので吾々自身の力で漸次改正して行かなければならぬ、海軍としても最新最鋭のものを造り他國を凌駕するものを持たなければならぬので現在よりも更に研究機關を完備して行く計畫である

武井經理局長　明年度豫算において年額三千萬圓の試驗研究費を計上してゐる、これは純研究費であるがこれらのほか各種目の中に相當含まれてゐる

勃新內閣成立

【ソフイヤ十六日發國通】キオツセイヴアノフ內閣總辭職の後を承けて後繼內閣組織を委囑された前文相ボグダン・フイロフ教授は十六日組閣を完了しフイロフ首相の下にブルガリア新內閣は成立した

新外相にはユーゴー駐劄公使イワン・ポポフ氏が起用されたほか大部分は前內閣の閣僚がそのまゝ留任してゐる、なほ新內閣の外交政策は前內閣の方針を踏襲するものとみられるから外交政策上の變化は豫想されないが、たゞフイロフ新首相は親ユーゴー派である點よりしてユーゴー・スラヴイア、ルーマニア、ギリシヤ、トルコなどバルカン協商國との國交改善に努力するものとみられる

軍人遺家族援護 强化の明朗法案
好人當兵時代護る

好人當兵時代の到來とともに銃後の憂ひを全く解消させ全國老若男女擧つて國防國家の建設に協力させる大綱としての軍事援護及び優遇の兩要綱案は人民總服役令審議會の總務分科會第四班（吉本民生部參事官主査）により審議中だつたが、兵役制度要綱案に次いで十七日その概要を發表三月までには確定公布されることになつたが、士兵徵用者など軍務服役者はもとより戰傷歿軍人軍屬とその遺家族に及ぶ廣汎な福祉施設や多大な恩典を明示し躍進滿洲國の國力を中外に誇揚するに足る銃後赤誠の結晶として共同防衛の支柱を强化し國軍の意氣を鼓舞するばかりでなく、國防國民の名譽を顯彰し新東亞建設の過程に一時代を劃す歷史的所産とされてゐる、なほ國民の光榮ある義務であり名譽の權利たる軍役關係者及びその遺家族の生活を安定させ社會的位置を補償する一方一般國民の感謝を國家的立場から具體化するものとして傷　軍人の補導慰藉に退役除隊者及び軍事徵用者の援護をも含んでゐる

禁煙小唄募集

禁煙總局では阿片斷禁政策の徹底のため中央、地方を通ずる煙政機構整備充實を圖る一方對外、對內の宣傳を充實して禁煙思想の民衆化を期してゐるが今回左記の規定により禁煙小唄の懸賞募集を行ふことゝなつた小唄は平易簡明な歌詞によつて知らず識らずの間に禁煙思想を浸透させるものであることが要件で出來榮え如何ではレコード吹込みは勿論、滿映と提携して映畫に製作しようと意氣込んでゐる

▽締切期日三月卅一日▽當選發表五月上旬▽賞金＝一等（一名）百圓、二等（一名）五十圓、三等（一名）三十圓、選外佳作（十名）五圓▽宛先禁煙總局弘報股

チブス饅頭事件 第一審無期求刑

【大阪國通】殺人か傷害か哀戀の廣瀨菊子の論告は十六日午前十時から大阪控訴院に小原裁判長係、原、芳賀兩檢事立合ひ沼田、瀧川兩辯護士など列席の下に開廷この朝問題の論告を聽くために押し寄せた傍聽人は百名に上り吉屋信子女史の顏も見えてゐた九時五十分菊子は深網笠、納戶色の御召しに菊模樣黑紋付の金紗の羽織で入廷、十時小原裁判長より型の如く訊問あつて後に檢事の論告に入り被告の犯行は殺人未遂である被告の犯罪動機については情狀酌量すべき點あるもこれに心を引かされ幻惑されることは許されない、被告の心理模倣を豫防するためには公正妥當なる決定が必要であるとて一時間に亙る論告を終へ被告は公共の敵に値するもその動機は酌量すべき點ありとして檢事は無期懲役を求刑すると述べ滿場息詰るやうな緊張の裡に第一審求刑同樣無期懲役を求刑、十一時卅分一旦休憩午後一時再開沼田、瀧川兩辯護士の辯論を行つな

膨脹豫想される 滿業本年度資金
最後決定は四月か

滿業では去る十二月廿七日の株主總會で大體本年度分として社債二億圓の發行を可決し、目下東上中の田中理事が右社債の發行を中心とする資金計畫に付てシ團側と折衝中であるが諸般の情勢よりして田中理事今回の折衝は下打合せの程度に止まり追つて同理事の再度の東上に依つて具體的計畫に到達するものと推察される即ち滿業の本年度資金計畫の基礎となるべき子會社の事業計畫は日滿物動計畫に從つて按配されるものであり物動計畫そのものが本年四月より來年三月までに付ては現在のところ未だ樹立の運びに至らぬので來月末頃に至り物動計畫の樹立について子會社の事業計畫作成滿業の資金計畫樹立と言ふ段取となるべく從つて時期は四月に入るものと豫想される

而して滿業子會社の本年度擴張計畫としては既に豫定されてゐるものに滿炭、滿洲飛行機兩社の增資あり、また物資不足の時期とは言へ物動計畫に於て石炭業及び非鐵金屬鑛業には特に重點を置くことに日滿兩政府當局の話合ひも成立し時局の要請に應じて大體樹立を見てゐる、滿炭の資金計畫が極めて尨大なものであるだけに之等に伴ふ滿業よりの株式拂込は昨年度に劣らぬ尨大なものとなることは想像される、右のほか商業資金當局としてはその大事業たる自動車、飛行機の大規模製造事業が本年度に於てどの程度に於てその緒につくかについて物動計畫決定後と雖も判然と豫測し得ざる惱みがあり、從つて資金計畫も決定後に於て相當の變更を豫想し得る譯で、社債發行に付ても本年中二億圓以內に止まるか否か目下のところ不明である

十二年目知る 瞼の伯父さん
警官の親切に春甦る薄幸娘

警察官の親切な計ひで十二年間探し求めた伯父が遠く北海道に健在であることが判りめぐり來た春を讃へてゐると云ふ明朗な話

昨年三月頃から吉林市三經路おでん屋二かくの女中さんで働いてゐるカヅちやんこと萬谷和子（二〇）さんは昨年十月南太路派出所の岡田警尉補が戶口調査の際

カヅちやんには身寄なく父は死に母は八歲の時より行方知れずたゞ樺太に伯父が居る事は聞いて居りますが、私は八ツの時今の姓の萬谷家に養女となりその家も十六歲の春破產一家は散りぢりになつてそれ以來私は誰一人賴るものもなく大阪から滿洲と轉々としましたため伯父の所も判らず實の母もどうなつてゐるか判りません

と聞かされ、職務に忠實な岡田警尉補は何んとかしてやらうと樺太の各派出所に照會中のところ、五ケ月を經て去る二月一日樺太落合署より該當者らしい高松龜三郎氏（六六）が王子製紙落合配給所長で居ると云ふ回答があつたので喜んだ岡田警尉補は直ちにこれをカヅ子さんに傳へ伯父高松氏に便りをさせたところ正眞正銘の未だ見ぬ伯父であつた【寫眞は和子さん】

國境確保に隱れた功績
遂に還らぬ女丈夫 柳澤警佐夫人
滿系職員の追慕に淚なほ新た

國境の聖母として滿系警察隊員から慕はれてゐた東寧國境警察隊柳澤警佐夫人文子さん（栃木縣芳賀郡山前村出身）は惜しくも病魔に襲はれ夫君や滿系二ケ年勞苦を共にした滿系隊員の手篤い看護の甲斐もなく、國境確保の隱れた數々の功績をあとに舊臘あたら二十六のうら若き命を散らしたが柳澤文子さんこそ國境警察隊改編の隱れた功勞者であり警察官夫人として最初に最前線勤務地に乘込んだ女丈夫でいまなほその美德と功績は國境の人々の語り草となつてゐる

文子 夫人がソ聯領ボルタフカ近くの國境警察隊に夫君柳澤警佐と乘込んだのは康德五年三月、滿ソ國境の情勢は一觸即發の危機が傳へられる頃で、ソ聯兵の越境は頻々として繰返されてゐたが、柳澤警佐は着任早々滿軍を警察隊に改編する重要使命を受け滿軍兵士に警察官としての訓練を施さねばならなかつたのであるが改編警察隊員中には不滿分子が多數あつてその訓練宣撫は容易でなかつた

この時夫の苦衷を察知した文子夫人は、日本女性の眞心を以てすれば隊員宣撫は必ずや成功すると固く決意し、滿系隊員と起居をともにしつつ心の糧に乏しい隊員の母となり保姆となつて彼等に接しまた越境侵入者あれば共に銃を執つて戰つたのである、これに反し柳澤警佐の訓練は日に日に猛烈を極め嚴格そのものであつたが

警佐 もまた官服を脫げば隊員の兄であり良き友であつた、斯くするうち國境の情勢は激變して七月遂に張鼓峰事件が勃發して國境は益す緊迫して來たが、柳澤夫妻の心からなる宣撫をうけた隊員には事件の影響は全然なく寧ろ彼等との關係は日と共に親密化して行き改編當時とうつて變つた模範隊となつて上司から表彰されるまでになつた

だが慰安なき緊張した山家のかうした生活は樂でなく、無理に無理を重ねた生活はいつしか彼女を病魔に弱い體にしてしまつたが氣丈夫な夫人はいま倒れてはと氣力の衰へる身に鞭うちつつ夫の片腕として國境に踏みとゞまつて隊員宣撫に努めたその年の暮柳澤警佐は特に選ばれて○○隊轉勤を命ぜられたが、これを聞いた隊員達は隊長のみの轉勤に極力反對して容易に肯んぜず、國境警察隊では遂に全隊員の○○隊轉勤を許したのもかうした德の現れといへやう

國境 新任地前面の國境も平穩ではなくソ滿軍の不法越境事件が相ついで頻發し全くの不眠不休の日が續き夫人の病狀は日に日に惡化し春淺む四月には遂に國境の隊舍の一隅に病臥する身となつたが、柳澤警佐には病床にある夫人を街の病院に移す暇さへない重要任務があり、健氣な夫人もまた病床から常に夫を激勵し、留守中鄕里から來た父危篤の悲報をも秘めて唯々重要任務の完遂を祈つてゐたといはれてをり、心から絕對信服してゐた滿系隊員達の心盡しは親身も及ばぬ親切さであり、夫妻は日頃の眞心の結實だと泣きながら喜び合ひ且つ神に感謝したのであつた、かくて國境に楡葉かほる六月、東寧の縣立病院に移された夫人は十二月初め夫君の腕に抱かれながら「私は國のために死んで行きます」と本隊長以下滿系警察隊員の淚のうちに眠るが如く他界した

國境警備の蔭にかうした美談と秘話は少くないが柳澤夫人が滿系隊員に與へた偉大な感化と、滅私常に奉公の念に燃えてゐた祖國愛こそ國境確保の隱れた尊い功績であり眞に日本女性の龜鑑であらう

技術機構を五部に 愈よ綜合經營へ
滿洲電化本格發足

滿洲電化では昨年末大日本セルロイド、日本化成工業電氣化學工業三社の企業參加により日本が有してゐるカーバイト系電氣化學工業の最高技術導入に成功し一速のカーバイト系電化工業の綜合開發を目指して着々機構の整備を行つてゐる、日本側三社に同一社內に在つて各々專門とする部門を擔當することになつてゐるため技術上の秘密保持の必要から先般の重役會でコークス、カーバイト、アセチレン及びアルデヒード、ブナゴム等各部門ごとに第一、第二、第三、第四の各部及びこれ等の各部に共通する運輸、電氣を擔當する工務部を新設して三社を代表する理事が各部を統率する獨自の技術機構を採用する方針を決定した、この方針に從つて本年新に採用した技術員五十餘名は各部別により日本化成、大日本セルロイド、電氣化學三社の工場に配屬して各々專門とする技術を習得せしむることになつた、同社で目下企業化を豫定してゐるもののうちカーバイト及び合成ゴムは豫定の如く本年度より吉林に實驗工場を設立する筈であるが醋酸、石炭、窒素等は既に日本側三社に於て工業化に成功してゐるもので技術的に何等の支障なく資材の配給を待つて八年度より本格的工場建設に着手することになつてゐる

小學校教員 異動打合

駐滿大使館教務部では十七日午前十時から大使館で視學委員會議を開催、學校教員の定期異動について打合せを行つたが、本年度の異動方針並に範圍は昨年度の南北交流による大異動の後を承け小學校を主とした一部の缺員整備と新設中學校の增員異動程度のもので校長級の異動は殆んどないもの〻如く、特に近時强調されてゐる教員の大陸認識の上からも短期異動は避ける方針と見られてゐる、なほ發令は調査の終了を俟つて三月中旬ごろ行はれる豫定である

洪牙利貨物船
八丈島要塞地帶に碇泊 抑留取調べ開始

【福岡國通】佛領印度支那から米穀を積載しアメリカのヒューストン港から屑鐵を滿載し去る一月十七日橫濱に入港したハンガリー貨物船ニュー・ガット號（四、三二四トン）＝船長ニコラス・ゾーラ氏（三九）は更に石炭積入のため三池港に向つたが、同船は途中進路を八丈島方面に向け行方をくらましたので警視廳では同船の行動を注視中の所同船は八丈島要塞地帶附近に碇泊してゐた事實を突とめたので直ちに同船に停船命令を發したが、同船はそれを無視し三池に向つたゝめ警視廳では福岡縣刑事課を通じ同船取押へ方通牒を發した處ニュー・ガット號は豫定より三日遲れて十五日午前十一時三池沖に姿を現し午後二時半燈臺沖に投錨したので指令に依り待機中の大牟田署に連行、十六日縣外事課員が出張取調べ中であるが警視廳より指令あり次第本格的取調べを進める筈で

內地中小工業移駐
本年度更に四十工場選定

軍需產業の埒外に置かれ或は大資本の壓迫により休止轉業を餘儀なくされてゐる日本內地の中小工業に新しい發展を約束する滿洲移駐は產業部並に商工省の斡旋により六年度分として既に廿一工場の移駐を決定したが、この移駐地は南滿十六、北滿五（奉天十五、鞍山一）東北滿五（琿春二、海拉爾、東寧、勃利各一）で鑛山機械、自動車機械、工作機械その他各種機械の部分品工場並に修理工場が中心をなしてゐる、このうち琿春の鑛山機械修理工場及び海拉爾の自動車修理工場の二工場は既に昨年中に移駐を終つてゐるが殘りの十九工場は本春解氷期を待つて一齊に移駐を開始することになつてゐる、產業部では七年度は更に助成費四十八萬八千圓を計上して四十工場の移駐を實現すべく先般來森岡事務官が東上、商工省と移駐方針、移駐方法等具體的問題に關し折衝を行つてゐるこれと同時に國內業者の希望をも具體的に調査中でありこれ等の結果に基き三月下旬より九州、大阪、名古屋、東京、北海道の各地で移駐工場の選定を行ふ豫定である本年度に豫定される四十工場中十工場は極く小規模の農具修理假工場で開拓總局と協議の上開拓地に移駐することになつてをり北滿は主として自動車及び農具修理工場、南滿は鑛山機械、自動車部分品一般機械、大農機器製造の各工場を移駐する豫定である

白菊校分教室竣工

國都郊外綠園住宅に住む兒童の通學難緩和のため新京日本人學校組合では取敢へず三學年までの兒童を收容すべく工費五萬八千圓で昨年八月白菊小學校分教室新築工事に着工、舊臘竣工したので二十日から授業を開始することになつた、なほ同分教室は現在僅か三教室に過ぎないが將來綠園住宅の發展と相俟つて獨立校となる豫定である

撫順製油工場 機構改正

滿鐵では十七日附撫順炭礦製油工場に新たに副長を設置左の通り發令した、なほ同工場乾溜長、精油長及工作長は廢止された

化學工業所長 參事 名嘉地用明
命製油工場副長
撫順炭礦工業局計畫課長 參事 實作 新六
命化學工業所長同計畫係主

富錦縣炭開發
本格的採炭に乘出

非常時石炭資源の開發確保が叫ばれてゐる折柄滿洲鑛發では富錦縣下に埋藏されてゐる石炭の開發に乘出すべく同社三田調査課長、村田地形課長ほか四氏は十六日から二十三日まで縣下一帶に亙つて實地調査をなすことになつた、同縣下には雙鴨山と稱す有望な石炭礦脈あり富錦南西百八キロ集賢鎭の南西卅六キロ安邦河流域では早くより地元住民の手掘りにより年產三萬五千トン內外出炭富錦、佳木斯方面に搬出してゐたものであるが、今回の調査により本格的開發に着手されるものとして期待されてゐる

日赤特別委員部

【東京國通】北京、濟南、張家口、太原および石家莊の各地は今次支那事變以來日本人の移住著しく今後一層激增の趨勢にあるので日本赤十字社では來る三月十日より右各地に特別委員部を設置し、大いに恤兵報國博愛人道の事業に邁進することゝなつた

富田總裁東上

富田興銀總裁は來る十九日午前八時發ひかりで東上、日本側大藏省その他金融關係機關と興業債券本年度發行計畫その他につき懇談することゝなつた、本年度同行債券發行豫定額は約四千萬圓程度と見られ日本起債市場の狀況打診旁々第一回發行方につき打合せをなす筈で滯京期間は約三週間である、尙發行の技術的折衝は富田總裁歸京後一色理事と再度東上これに當るものとみられる

氏制度指導 滿支巡回

【京城國通】總督府では氏制度創設を在外半島人にもその趣旨徹底を期するため鎌田法務局事務官を滿洲、北支に派遣同地在住半島人に對し氏制度に關する講演指導に當ることになつた同事務官は來る廿六日京城發、先づ間島省內を巡回して三月六日歸城、更に三月九日滿洲、北支の各地を巡回して三月末歸城する

十五年度の物動計畫 四月成案

【東京國通】十五年度物動計畫は十五年度豫算編成當時既に一應の概計を作製し、これに基いて豫算が編成されたのであるが、十六日衆議院豫算第三分科會席上竹內企畫院總裁の說明したところによると、その本格的計畫については早ければ三月中遲くとも四月中には成案を得べく立案が進められてをり、右計畫決定に當つては豫算編成後における情勢の變化を考慮に容れ概計に比較して多少の變化あるものと見られてゐる

軍管區司令官會議第二日

軍管區司令官會議第二日の十七日は午前九時三十分開會、前日に引續き各司令官から狀況報告の後、吳參謀司長、王軍政司長の口演あつて午後一時三十分から懇談に移り、國軍整備增强等に關し種々意見の交換を遂げた

關屋副市長

關屋副市長は事務打合せのため十七日午後一時四十分發あじあで奉天に向つたが十九日歸京の豫定

・伊藤日銀文書局次長・ 中銀考査課長より日銀文書局次長に轉じた伊藤齊氏は來る廿日午前九時卅分はとで赴任の途につく

・半田副長赴任延期・ 協和會今次の大異動で中央本部企畫局副局長兼中央訓練所長から濱江省本部副長兼同地區本部事務長ならびに哈爾濱本部事務長に榮轉した半田敏治氏は都合で來る四月十日まで赴任を延期することゝなつた

中銀帳尻

十五日現在中銀帳尻左の如し（單位千圓、△印減）

		前日比增
紙幣	五[illegible]、七〇七	△二、四六九
籌貨	三五、一七五	[illegible]
預金	四四九、三八五	〇、八〇一
貸出	七九〇、六六一	一、八二六

セキの仕方で病氣程度が判る
病氣の種類でそれぞれ違ふ　呼吸の數にも注意

咳は風邪の場合ばかりでなくその他にも色々の病氣の時に出ます、そしてその出方も、病氣の種類、その病氣の程度で相違があります、したがつて咳の[illegible]

[illegible]類すると乾性と濕性の二つになります、濕性は水分を含んだ重苦しいやうな咳のことで、乾性はこの反對と思つてよい、たとへば咽喉の氣管の下部がをかされた時に出る咳は乾性です、百日咳では最初乾性へ濕性の咳が伴ふことがあります、大抵咳の出る病氣はまづ乾性の咳からはじまつて次第に濕性に移り回復期に向つてくるにつれてまたもとの

乾性 の咳に變つて來ます、また病氣によつて發作性に來る咳をすることがあります、咽頭や扁桃腺喉頭部に炎症が起きた場合がこれで、百日咳の初期、扁桃腺肥大などがさうです、また上氣道の慢性障害、たとへば肺結核の初期だとか煙草の喫みすぎなどのため慢性炎症を起してゐるときの咳は力のない輕い咳をします、咳で特異なのは吠聲咳です、喉頭ヂフテリヤや百日咳の時などには犬が遠吠えするやうな咳を出します、ヒステリー患者が發作を起した時にもこの

吠聲 咳をすることがあります、また發作性の咳をすることもある、これは百日咳のときも同樣です、

[illegible]呼吸數を知るといふことも必要です、これは熱が高いとか低いとかいつた事よりもそして咳よりも大事なことです

例へば百日咳のとき苦痛や咳が急に減つたのに子供は悪いとか、病氣が進行して肺炎になつた場合などには咳の發作の代りに呼吸數が增加してくる、したがつて呼吸數に注意するといふことは非常に大切です、それに豫め生理的の呼吸數は幾つかを知つて置く必要があります、大體の標準をいふと

◇初生兒では一分間に四〇から三五
◇生後六ケ月から一年では三五から二五
◇五年から六年は二二から二〇
◇一〇年から一二年では二〇から一八
◇成人では一八から一六が生理的呼吸數です

數へ方は胸に手をあてゝやる、至つて簡單です、この標準より多くなつたときは重症にあり或は重症になりつゝあるので注意すること

窓硝子を磨くには

立春も過ぎ舊正月も來てしまつて、餘寒未だ嚴しいとはいへ窓からさし込む陽の光に春の香りが感じられるやうになりました、永い間全く顧みられなかつた窓ガラスも綺麗に磨いて嬉しい春を迎へませう、ガラス磨きにキハツ油をお用ひになる方が多いやうですが、ガソリン缺乏の時ではありますし幾分面倒でも沈降性炭酸カルシウムをお用ひになつた方がずつと綺麗に磨けます、この藥品は藥局で五十瓦三十五錢ぐらゐで賣つてゐます、これを小盃三杯に對し粉石鹸同一杯の割で混ぜ水を加へて稍々かた目に練つておきます、ガラスが塵埃や煤煙でひどくよごれてゐましたら一應雜巾で荒拭きしてから前に用意した藥品を布につけてガラス面を擦ります、そして水分の乾き切らぬうちに別の乾いた布で拭き取りますと餘り苦勞しなくても綺麗になります

汚れ物の整理 定まつた袋に
廢物利用で見た目も綺麗

◇……洗濯物を部屋の隅にためて置くのは見苦しいものです、といつて棚に放り込んで置くことは不衞生です、汚れものをためて置く一定の袋に入れるやうにしませう、あり布の廢物利用で人形の背中から洗濯物を出し入れするやうにするのもいゝ思ひつきです、こんな風にしてあれば部屋の中へかけて置いても中身が汚れ物と判らず見た目も綺麗です、作り方は皆樣の思ひ思ひで結構です、大きさも布次第、またその家の洗濯物の出やう次第で大小を決めませう

◇……裝飾的價値を持たせるために色の變つたいろいろの小布を丸とか三角、四角に切つてアップリケのやうに配置よく並べ廻りをブラケット・ステッチ（ボタンの孔のかがり方と同樣）してもよいでせう、かゞり糸はDMCの刺繡糸二本でするのがよろしい、袋の上から三分の一下つたあたりに手袋をはめたやうな手をつけ、ギヤザを入れたカフスを首の廻りと同樣に手にもつけませう、洗濯物押込みの孔は背中に適宜にあけて置きます、孔はあまり狹いと出し入れに困ります、人形の首や帽子も殘り布を利用したいものです

柳河春三逝いて本年は七十回忌
（三）新聞、雜誌の創始者

神童春三名古屋に生る

日本外史で知られる頼山陽の歿した天保三年（二四九二年）はまた柳川春三の生年であるのも奇緣である、この年二月廿五日柳河は名古屋の犬和町（今の西區茶屋町二丁目）に生れ、父を西村武兵衞といふ、初め西村辰助と呼び後に良三と改めた、柳河春三とは後年江戸へ出てから柳の河の春の三月から採つて改名したものと傳へられる、幼年から非常な俊才で數へざるに能く書をなし、二歲の時母に背負はれて大丸屋に行つたところが、春三は屋號をダイマンヤと讀み、母がダイマルヤと正してもなかなか承服しなかつたさうで「この家の子は稀しい子供だ」とて春三を見るため名古屋の人がその家に數多く訪れたさうである、人が立身出世すると後年にその人の幼時を何かと創作する風があるが、春三の神童ぶりはその當時出版された「金鱗九十九之塵」に

三歲の童子辰助、この兒は學ばずしてよく書き、習はずしてよく書す、實に奇與の童兒なり

と記載されてゐるのである、さらに名古屋天滿宮の御祭に幟を書いて評判になつたことが尾張侯の耳に入つたので三歲の時侯の御前に召して揮毫を命ぜられた、ところが餘り見事なので侯が何枚も所望されると遂に大きな字で「もういやになつた」と書いたといふ話もある、侯はすつかり感心せられ僧侶として立身させやうと父親に內命を傳へられたがこれは本人が承知しなかつたので實現せずに終つた

蘭學者伊藤圭介の門に入る

やゝ長じて天保十二年（二五〇一年）には時の名古屋の蘭學者伊藤圭介先生の門に入つた、さうして一心に蘭學を學んだ、伊藤圭介は本業は醫師であつたが、日本における植物學の大家で後年帝國大學教授、理學博士、男爵になつた人である

天保十二年に伊藤先生の「洋學篇」といふ書物が出版され、アルフアベットから單語、熟語の綴り方などを教へてゐるが、柳川春三は伊藤先生の息子圭造少年と編輯を手傳つてゐる、時に僅十歲であつたのを見ても如何に非凡な鬼才であつたかが判る、柳河が後年大成したのは實にこの伊藤先生の薰陶をうけたことが素因をなしてゐるので、熱心に蘭學を學ぶ傍ら漢書を讀み、十一歲のときには既に漢文を以て立派な「法華經を駁するの文」といふ論文を書いてゐる、また當然醫術にも通じ伊藤先生の代診を勤めてゐた樣である、その後江戸に出る迄の間西洋砲術の先覺者上田帶刀の許へ出入して砲術學をも學び「西洋砲術便覽」なる書を著し（尤も表面の著者は上田帶刀仲敏となつてゐる）伊藤先生の「硝石篇」「硎鐵篇」の編輯をなし益々蘭學の研鑽を積んで年は若くとも實力の點では押しも押されもせぬ蘭學者となつた、安政三年（二五一六年）になつていよいよこの池中の龍が雲を獲つたのである、廿五歲になつた春三はこの年滿々たる雄圖を抱き洋學の深い含蓄を提げて江戸に上つた、柳河春三と改名したのはこの時で、彼は非常に柳を好み、紋所に柳葉を用ひ、楊江、柳園、柳屋主人、柳處生、細柳書屋等と號した程である、然し滯京僅々數ケ月で長崎に赴いた

初めて寫眞術を學ぶ

長崎は周知の如く當時唯一の開港場で蘭學者にとつては天國であつた、春三はここで一段の研鑽を重ね就中特筆すべきは寫眞術を修めたことで、後年資料を纏めて「寫眞鏡圖說」を著したが（當時寫生のことを寫眞と稱したので特に鏡をつけて寫眞鏡とした）これは本邦に於る寫眞術書の最初のものである、日本で寫眞をやつたのは下岡蓮杖が初めてゞあると傳へられてゐるが、下岡は單に寫眞營業の創始者であつて寫眞術の紹介者は實にこの柳河春三である、彼はこの事業一つだけを取上げても偉大な文化の貢獻者といはねばならない、こゝでも少し柳河と寫眞の關係を語ると「明治事物起原」に

嘉永の頃、水戸烈公寫眞術の書を長崎に得、柳河春三氏に托して之を繙譯せしめ、之に因りて器械を取寄せ公身らその術を試み給へり、藩士菊地忠氏も公の傍らにあつて寫眞の術を學び得、近來まで撮影せり

とある、だが流石の柳河もこの魔訶不思議な寫眞術を修得するには筆舌に盡せぬ苦心を拂ひ、原本としては英、蘭、佛語、著書七、八册を漁り、見なれぬ藥をあれこれと調合して研究したらしく、偶々友人が訪問すると室中に藥や器械が散亂し藥がはねてしみだらけになつた衣服で研究に沒頭してゐる彼を發見したといふ、現代の寫眞語としてどんな初心者も知らぬ者のない「ピント」は柳河が蘭語から譯した「ピユント」に發足してゐるので、次亞硫酸曹達を「ハイポー」と呼ぶのもやはり「灰芒消」から來たものである、さて彼は安政四年（二五一七年）再び江戸に戻り、水野土佐守忠英の知遇を得てその推輓によつて紀州藩に仕へた、そして水野家の奧祐筆であつた木村勢以女を娶つてこゝに一家をなしたのである

又その令名は次第に弘まつて交友は一流の士に及び順風滿帆の得意ぶりで元治元年（二五二四年）には召されて開成所に出仕、慶應四年には開成所頭取に進んだ「中外新聞」がこの前後に創刊されたことは冒頭既述の通りである、初め水野土佐守が彼を招聘するや、その下屋敷に滯留せしめて洋書の飜譯に當らせ著譯することが實に一百餘卷の多きに及んだ

洋算法の輸入者

柳河の著書の主なるものを擧げると次の通りである

洋算用法、洋學指針、洋學便覽、寫眞鏡圖說、智環啓蒙國字解、法朗西文典、英吉利日用通語・アベセ字様、うひまなび、柳園叢書、柳のしづく、除痘約論、蠶種說附通商雜誌、格物入門和解、新篇砲家必携、新砲圖說、西洋軍制、西洋王代一覽、萬國通商便覽、叢中萬國一覽、西洋時計便覽、外國錢譜、英國刑典、佛學階梯、十一國語箋、萬國新話、中外漫筆、算法珍書、西洋將棋指南、西洋開運物語、汐時早見其他多數

これ等を見るに先づ第一の「洋算用法」は安政四年（二五一七年）に刊行し西洋算術を系統的に說いたわが國最初の著書であつて、柳河は洋算の採取にも先鞭をつけたのだ「寫眞鏡圖說」は既述の通り「西洋時計便覽」もその附錄の寒暖計の說明と共に同種の著書として最初のものである、內容は今から見るとなかなか興味の深いところがあるので一部を紹介すると、先づ初めに數字の說明があつてから時刻を

子時（夜九ツ）　十二時
丑時（夜八ツ）　二時十分十二秒
寅時（曉七ツ）　四時二十分二十四秒

と云つた風に對照說明してある、これはどういふことかと云ふに右側が當時の慣例による時刻の呼び方で、左側は時計の示す時刻である、つまり時計の針が十二時を指してゐても使用者は十二時だけではどれ程夜が更けたのか見當がつかない、對照表によつてそれが子の刻であると知つて「大分夜も更けたな」と感ずるといふのだ、現代人には一寸そのまゝ信ぜられないやうな話だ

天然痘の豫防
千早醫院長　安部篤惠氏談

一七九六年英人ジエンナーによつて種痘法が發見され普及されて以來、歐米諸國で痘瘡（天然痘）は稀有の病氣に數へられるやうになり今ではアチラのどの醫學書を繙いて見ても痘瘡について滿足な說明が得られないほどです、日本でも種痘法が實施されてから此難病に苦しむ人の激減して、明治四十年から翌四十一年へかけての大流行以來大した流行を見ないやうですが、滿洲から支那方面にかけては現在でも年々多數の患者を出してゐます、その病症も一般に日本のものより症狀が重く中には日本などでは到底見られないやうな型があります、この病氣は滿洲では年中根絶しませんが、割合に熱に對する抵抗が弱いので夏はごく尠く冬から春にかけて最も多數の患者を出し、例年四月五月が流行の絶頂にあるやうです、今年もボツボツ罹患者が殖えてゐるやうですから警戒を要します、その傳染系統は患者の膿汁や加皮から感染するのは勿論、接觸、空氣傳染いづれも相當强烈なもので感染すれば九日乃至十三日の潜伏期を經て發病するのです、痘瘡を豫防するには種痘が最も適確ですからこの猖獗地ともいふべき滿洲に住むものはつとめて種痘を勵行する必要があります、日本人は定期種痘を受けますので、罹患しても一般に輕症ですが、種痘後多年を經過してゐる者には往々重症を見ることがあります、又生後日が淺くて未だ種痘をしてゐない嬰兒（未痘兒）では七五%といふ高い死亡率を示してゐます、又これは種痘したことのある者に限るやうですが滿洲では出血性痘瘡といふ極めて悪性の痘瘡を見ることが稀でありません、痘瘡の症狀は最初突然三十九度乃至四十度位の發熱があり惡寒や戰慄、頭痛等を伴ひ殊に甚しい腰痛を訴へるのが特徴です、熱は三日間位持續しますが、二日目か三日目に腕（以前種痘したものはその周圍）や下腹部、太股の內側、腋などに猩紅熱や痲疹に似た發疹（前驅疹）が表はれます、この前驅疹が輕くて追々全身に擴がり美しい桃色を呈する場合は別に痘を造らずに熱もそのまゝ下降し、前驅疹も漸次消えて一週間位で全治するものがあります、これは無疹性痘瘡といつて最も輕症ですが、種痘して多年を經過した日本人に最も多いのは次の假痘です、假痘の場合は前驅疹に次いで三日目か四日目頃から顏面にポツポツと紅斑が現はれ熱は一旦下りますが、五、六日目になつて紅斑が圓錐狀に尖りその中央に水疱が出來るやうになると再び體溫が上ります、しかしこの熱は水疱が枯れると一緒に漸次下降し、水疱は加皮（かさぶた）を造つてやがて脫落しますので大抵二週間內外で全治します、種痘して二十年も經過する場合、或は全然種痘したことのない者に多い眞痘は、假痘と同樣に水疱が生じた後その水疱が段々大きくなり次いで內容物が徐々に溷濁して膿疱となります、これと同時に熱は段々上昇して九日目位には頂上に達し、不幸の轉歸をとる者もこの時期に一番多いのです、膿疱の形成が高潮に達しますと患者はしきりに疼痛を訴へます、發病後十一日乃至十二日目になりますと膿疱の內容は破れ、或は蒸發して乾燥し黄色又は褐色の加皮を作ります、體溫は下りますが今後は激しい搔痒を訴へます、更に三、四日經ちますと加皮は漸次脫落しますが、あとに暗赤色の斑點（あばた）を遺して快癒するのです、出血性痘瘡は最初の前驅疹が針でついた樣に紅く出ますから經驗ある醫者ならすぐ診斷がつきます、これには出血性膿疱性痘瘡と痘瘡性紫斑病の二種があつて、前者は膿疱中に出血して喀血、吐血、腸出血、血尿、子宮出血等を伴ふ場合が多く約五十%の死亡率を示してゐますが、後者は痘疹を造らないうちに皮膚や粘膜に出血し全身紫色に變つて發病數日にして死亡するのが常です

ラヂオ　けふの番組
十八日【日曜日】M・T・O・Y【新京放送局】

朝
七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、二五（新京）氣象通報
八、三〇（新京）管絃樂（レコード）一、組曲「アルサスの風景」（マスネー作曲）パリー交響管絃樂團、指揮アンドレー　二、スペイン情緒ヴイクトリア管絃樂團　三、圓舞曲洒落男ヴイクトリア管絃樂團
九、三〇（新京）獨唱と合唱（新京錦ケ丘高女生徒）一、獨唱（イ）遙かなるサンタルチア（マリオ作曲）三宅良子、ピアノ伴奏飯島茂代（ロ）聖母讃歌（マスカーニ作曲）坂本春江ピアノ伴奏中村瑛子　二、合唱（イ）いろは歌（信時潔作曲）二年生、ピアノ伴奏中村英子（ロ）母國を懷ふ（滿洲唱歌）三年生、ピアノ伴奏谷澤美津子、（ハ）愛國行進曲變奏曲、（內閣情報部制定）四年生、ピアノ伴奏高橋啓子
一〇、〇〇（東京）週間を顧みて（錄音）
一〇、四〇（新京）講演　紀元二千六百年史（二）佐藤膽齋
一一、一〇（奉天）講演「加藤清正公滿洲侵入の國體的大信念」高鍋日統
一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝
〇、〇一（新京）浪花節（レコード）忠治子別れ（酒井雲）大阪落城（壽々木米若）
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（東京）傷病將士慰問の午後水戸陸軍病院より中繼＝一、落語「天災」春風亭柳枝　二、講談「次郎長外傳小政の生立ち」神田ろ山　三、漫才　林家染子　四、浪花節「松前屋五郎兵衞」東小樂燕　五、歌謠曲（イ）我が家の星座、青春グラウンド（灰田勝彦）（ロ）軍刀さげて、伊那節、坊や抱いて（市丸）三味線靜子、伴奏東京放送管絃樂團、指揮佐々木俊一

東京無線

二、五九（東京）北米西部向海外放送＝俚謠組曲、ふるさとの調べ（藤井清水編曲）獨唱權藤圓立、合唱ヘンデル合唱團、伴奏大阪ラヂオオーケストラ、指揮藤井清水
四、〇〇（東・新）ニュース・氣象通報
五、三〇（新京）管絃樂（レコード）一、歌劇「魔笛」序曲（モーツアルト作曲）ニューヨーク・フイルハーモニック交響管絃樂團、指揮メンゲルベルグ　二、歌劇「セミラミーデ」序曲（ロッシーニ作曲）ニューヨーク・フイルハーモニック交響管絃樂團、指揮トスカニーニ　三、歌劇「聖母の寶石」間奏曲第二番（ヴオルフ作曲）ミネアポリス交響管絃樂團、指揮オルマンディー

夜
六、〇〇（大連）ハーモニカ合奏（君ケ代行進曲、アイーダ行進曲、王の行進・他五曲）大連朝日小學校兒童、指揮信川實
六、二五（新京）趣味講演　滿洲文化を語る（二）稻葉君山
七、〇〇（東・新）ニュース
七、三〇（新京）……拓士の夕……齊唱　滿洲開拓の歌（本間一咲作詞、中山晋平作曲）黎明勤勞の歌（稻野靜哉作詞、長谷川良夫作曲）青少年義勇隊の歌（鳥越强作詞、中山晋平作曲）曠野の開發（土岐善麿作詞、乘松昭博作曲）中央合唱團、伴奏CYアンサンブル
七、四五（新京）慰問のことば　新京室町小學校五年生遠藤毅、新京室町小學校一年生村山ヨシ子
七、五〇（哈爾濱）拓地通信
八、一〇（新京）ラヂオドラマ　萬里の春（伊藤樹夫作並演出）小橋比佐一、天野博之、原新太郎、田原洋、藤森昌子
八、四〇（新京）マイク訪問（錄音）橋本博士に聽く……滿鮮交換放送……
八、五〇（新京）滿洲音樂　榮花（滿洲民謠）花六板（古曲）蝶穿花（陳其芬作曲）新京音樂院滿洲樂部、指揮陳其芬
九、〇五（新京）滿洲歌謠（柳みどりに、五芬齋、落花の曲、輝く朝）李香蘭、伴奏春聲管絃社、指揮白春聲
九、二〇（京城）雅樂
九、三九（東・新）時報、ニュース、ニュース解說
一〇、三〇（新京）今日のニュース　氣象通報
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

傷病將士慰問の午後

落語　天災　春風亭柳枝

熊さんが夫婦喧嘩をして隱居の所へ離緣狀を書いて貰ひに來た、隱居は心學道の話をして何事も天災だとあきらめれば腹も立たぬと云つて聞かせた、熊さんはひどく感心して家へ歸つて來ると、隣りでは先妻があばれ込んで大喧嘩が始まつてゐる、熊さんは早速飛んで行つて心學の受賣りをして「だから先の嚊があばれ込んだと思ひや腹が立つが、天道樣が來たと思へば腹も立たねえ、何事も天災だ」と云ふと相手は「イヤ、先妻と喧嘩をしたんだ」

浪花節　松前屋五郎兵衞　東家小樂燕

淺草藏前の松前屋五郎兵衞は悪旗本の奸計に依り、遂に無實の罪で傳馬町の獄屋につながれる身となつた、日頃御恩を蒙つて居た一心太助が念願のお伊勢詣りをして歸つて來ると、この話に御恩報じは此時とばかり新堀端島田藤右衞門と云ふ旗本屋敷へ忍び込み仲間を旨くだまして證據をあげ、駿河臺錦小路の大久保邸へ馳けつける、一部始終を聞いた彦左衞門は聞き捨てならぬ一大事と忽ちに馬をとばして將軍家光公にその由を申し上げる、そこで彦左衞門は竹原伊豫守の添役を命ぜられ、五郎兵衞の吟味役となり、寛永八年十一月廿一日芝龍ノ口の御記錄所に松前屋五郎兵衞再調べの御白洲が立つ事になつた、證人として呼び出された一心太助が天下の旗本を向ふに廻し、大活躍をすると云ふ大久保三政談の內、松前屋御白洲の一席

新年文藝選外佳作

うきぐさ（四）

吉河總

氣分が好くなると起き出してサトの止めるのも聞かず行商に行つた。日が暮れてから古賀は歸つて來た。ものも言はずに部屋に入つてぢつとしてゐたが、サトがお茶を持つてゆくと眞劍な顔になつて

「をばさん、僕哈爾濱に出ようと思ふんだが旅費がない。宿賃も相當たまつてゐるし、すまないけど、この藥を全部買つてくれませんか、金にして五六十圓はあるから、これで宿賃と旅費だけ何とか都合して下さい お願ひだ」

「まあ藥を。うちも藥をこんなに澤山もらつても！」

サトはしかし古賀の顔を見ると氣の毒になつた。

「それであんた、哈爾濱に知合でもあるんですか、商賣道具を賣つてしまつたら困るでせう」

「知合といつたつて別にないんだけど、哈爾濱へ行けば、こんな田舍と違つて何とかなるでせうから」

「さうですねえ」

男だから何とかして食つては行けよう。だが北滿は最早冬が迫つてゐる、若い身で冬支度も持たずに拋り出されるのもつらからう。それより商賣道具を投げ出すやうな一本氣の所がしほらしかつた。

「古賀さん、そんならどうですか、來年の春までうちに居つたら。もう冬になるのに當もなしに哈爾濱へ出たつていゝ事はないと思ひますよ。この店だつて御覽の通り客もないけど、冬はどうにか越せるつもりですし、人の一人や二人置いたつて同しことだから。それにあんたまだ風邪もすつかり治りきつてゐないのに、今から出かけるのは悪いぢやないですか」

古賀はとつおいつ迷つてゐた。

「私だつて悪いことは言ひませんよ。あんたも昨年内地から來たばつかりで、滿洲の事情もよく知らない若い身體をもつて、こんな土地へ商賣に來るなんて少し向ふ見ず過ぎましたよ。私もこんな氣性ですから困つた者は困つた者同志、遠慮はいらないし、あんたがゐて下されば用心棒が出來て却つてこつちも好都合ですよ」

サトは笑つた。一年あまりの放浪に疲れた古賀は、このをばさんの好意が嬉しかつた。兎に角來年の春まで落着く家が見つかつたことは蘇生した程の喜びにも感ぜられた。先は先でどうにかならう。

「すみません。ぢやをばさんの御好意に甘えて一つボーイを傭つたつもりでお願ひします」

古賀は頭を搔いた。

九月の末から炕を焚きはじめた。古賀は土間の奥の焚口にどつかり腰を下ろしてやけに薪を拋りこんだ。

十月初旬に初雪が降つてそれから先は毎日の雪空だつた。吹雪の朝は雪が二三尺も吹寄せて容易に戸が開かないことが多かつた。泥の上に紙を張つた壁は室内の熱氣で凍りついて霜のやうにざらざら光つてゐた。釘の穴程の隙間があれば外の雪が吹きこんで、牡丹の花が開いたやうに堆く積み上つた。

客はさつぱり無かつた。時たま道河に一軒だけ潤いてゐるおでんやの主人が遊びに來た。來る度に商賣を愚痴るのがこの亭主の癖だつた。

「全く踏んだり蹴つたりたあこの事で、夏中かゝつて店を直して、客はない、經費はかさむ、家に居れば借金取が押しかけてくる、五月蠅いからわしやこの頃はめつた家に居ませんよ。商賣も何もあつたものぢやない、ハハハ……。借金取を追拂ふのは何時も嬶の役目ですよ」

「本當にねえ、わたし共も不景氣だからもう店は止めようと思ふけど、たゞやめたぢや面白くないから、一つ流行つても流行らなくても構はない、何かパッとした趣向をやつてあつさりやめたいと思ひますよ。こんなオンドルなんか叩き壞してみんな土間にしてね、椅子テーブルをおいて、旗でも張り廻してさ、朝鮮人の女給を五六人連れて來て道河カフエーつてのはどうでせうねえ」

サトが相槌を打つて冗談を叩くと

「いや、遠山さん、あんたの方でそんな店でも出された日にや、わし達はいよいよあがつたりですよ。頼むからカフエーなんか始めないで下さいよ。アハハ」

亭主は話し好きで夜遲くまで上り込んだが、時には自分の店の酒瓶を抱へて來て、古賀と一緒にのみ、ぐでん〳〵に醉拂つて

「なあ遠山さん、今夜はこれから朝鮮妓を買ひに行かう。おう古賀、附合へよ」

と禿げた頭をランプに光らせながらマントを引掛けてよろ〳〵と出て行く事もあつた。

或晩のこと、日中の吹雪が夜に入つて益す激しくなつたので、サトは早目に店の戸を古賀に閉めさせてゐるところへ、おでんやの亭主が頭から眞白に雪をかぶつて

「おゝ寒む寒む。遠山さん今夜は冷えますねえ、零下四十度にもなつてゐるのぢやないかな」

とやつて來た。

讀書と國民的教養に付て

—序論的覺書—

守谷良平

（一）

序　國民的課題

今日ほど國民個々の生活環境にとり「國家の運命」と云ふ問題が切實痛烈な關心さを以て肉薄し來つたことは稀有である。

それはわが國民の前に提示された新東亞建設の歷史的使命、そしてその建設的な世界史的課題こそ前古未曾有のテーマであり、而もこの歷史的使命の成否如何はわが民族の生命と國家の興廢を賭する重大問題であることに基因するものなのであるからである。

しかも此の重大プログラムの成否に伴ふ基本的條件の一つとして當然現實の日程に上ぼさるゝ命題は「國民的教養」である。

最近喧しく叫ばるゝ國民的教養こそは日本民族の歷史的使命達成への精神的終止符を畫するものであり、國民の使命達成への精神的な礎石的根幹であり同時に八億の被壓迫民族を白色人種の覊絆より、奴隷人としての泥澤より救助し輝かしき復興アジアへの導きの火たらしむる根本的テーマである。

木村素衞氏は「國民と教養」に付て次の如く述べてゐる「今日我國の情勢は國民の教養に關して特に愼重な熟考を要求してゐる。日本國民が現在擔つてゐる世界史的な國民的課題そのものがその遂行の必然的條件としてそれを可能ならしめる國民的教養を豫想してゐるのである。

課題が世界史的であり、而もそれが國民全體の努力に待たれてゐるにも拘らず國民の教養がそれに相應しくなく、狹隘なる偏見や獨斷や迷執や樣々な認識不足などが跳梁するとするならば課題の遂行が失敗に導かれなければならないことは當然の歸結でなければならないであらう。

國民と教養との問題が改めて吟味され、新しく考へなほされなければならないことは、實に現在の歷史的課題であると云はなければならない。

大なる國民的實踐の根柢には强力なる國民的意志がなければならない。而もその意思を正しく且つ成功的に動かすか否かは一に國民の教養にかゝつてゐるのである」

と云うてゐるのは現實に於て最も適切妥當な見解であり、筆者の同感措く能はざるところである。

かくて國民的教養が國民のあらゆる階級層社會群の中に確固たる根を下ろし、堅實に芽生え亭々と繁茂するとき、始めて歷史的使命達成への形而上的エレメントは成熟するからである。

斯る環境に於てのみ一切の狹隘なる偏見、獨斷的迷執に縛緊されたる思想的潮流は清算され、國民的意思が統一され其の一絲亂れざる統一的國民意思の所産の貯水池の中にのみかく〳〵たる歷史的任務は他の物的乃至は形而下的諸條件と合體して正しくダイナミックな成功の線に到達することが可能であるからである。

その結實された境界線上に於てのみわが國文化の卓越せる生々發展が規定づけられ、優秀なる國民と國家の繁榮と富强が不拔の基礎をわれ〳〵の前に肥沃なる國家的土壤に於て確立するからである（筆者は民生部大臣官房資料科勤務「民生」を編輯）

點數少し

青木郁子「濁心」（『滿洲公論』二月號）

何を書かうとしてゐるかは、同情して讀むから判るのである。しかし何がどれだけ書かれてゐるかと言へば、どうもあまり點數は差し上げられぬのである。妻子のある男に戀をした女がその男をあきらめる話と、同じ女主人公がもう一人別の男を自分の友人に讓る話とが書いてあるのだが、この二つの話が分離してしまつてゐるのも損をしてゐる點である。それほどでないのに最大級の言葉を使つたりするのも女の作家の悪い癖である。新人の出發を喜びたいが、兎も角この作品は大したものぢやなかつた。（御垣衛士）

巷の灯

金昌信

巷に灯がともつた
白い天使は館で妖しい微笑を——流す。
織くちやの花屋の老婆は
赤い薔薇に糧を求める。
人生の放浪者は潤んだ一輪の赤い薔薇を世にも美しい夢の少女に捧げてゐる。
白い天使の館に綠、赤の灯がともつた
醜い胎虫と白い天使は——
「人生の馬鹿です」

茶房

アルメニヤ

ミルク色のロシヤの彼女は
優雅な科でCOFFEEを注ぎます。
彼は異國的な感情でCOFFEEを喫みます
赤くともつたシャンデリヤ——
は
ロシヤの彼女の貴族的な顔面に
ツア、ロマンスの彩を描きます
彼はプウシキンの詩集の一節を描きます
ミルク色のロシヤの彼女は
チヤイコフスキーのアンダンテ・カンタビレを奏します
オルマンデイのタクトのオーケストラは——
彼女にライラックの花苑を捧げます

捨てられた原稿（上）

砂山楠雄

一月中はなにかと正月氣分に禍ひされ、それは私の友人の責任にもかこつけたいのだが、自分のずぼらな怠惰にもよる。昨日まで六日間ばかりあつた休日中に幾分落着いた氣持ちで机の抽斗や、書き捨てられた原稿を整理することが出來た。一枚々々味はつて讀んでみると時には噴飯物も出てきたが、それでも何か知ら親しみと、新しい私の過去の姿を再見現し見つめられたやうな氣がする。

皆樣と共に私の捨てられた原稿を讀んでみようぢやありませんか？

× × ×

二人の問答

カフエーの一隅、客は少く喧噪が無い、甘つたるい流行歌が私達二人の上で悲しげな表情で舞踊をしてゐる。

沈んだ淡赤いネオンが明滅する。

「貴女は現在の生活に喜びと樂しみがあるかね」

「なぜそんなことお聞きになるの……」

「私の眼には餘りにも空虛に見えるし、虛無的な空威張りに見えるね」

「面白い方ね、私達には只酒と金なの」

「金！」

「金はね私達の媚びる技巧の上手下手にあるの」

「では私達男なんて貴女達の生活の爲に存在してゐることになるね」

「まあそんなものだわ…」

二人は力無い微笑を投げかけ合つた。

それは空虛な笑ひそのものだつた。

—後記 私の末梢神經の所産—

× × ×

驛（火車站）

驛は大へん活動的でよい。むつと鼻を衝くニンニクの臭ひにも滿洲の民族の生への力强い意慾が感じられる。

驛で見る女の人は大へん私の眼に綺麗に見える。出發や別離には殊更女の弱い線が覆ふことなく見えるからでもあらう。私は構内をうろつきながらたまらない文學への愛着とペンを執りたい氣持に刺戟される。

—後記 變な傾向的な感覺だ—

× × ×

私の叫び

私は原稿用紙を前にして机に嚙杖突いてゐる時が一番樂しい時間である。時折に暗い影が附纏つたり、悲しみにくれたり、苦しみに聞えたりする人生でも私は文學に明日への情熱を見出し、生きることの喜びを覺える。それは激しい熱病であり、文學への愛着である。それが私にとつて幸か、不幸かは知らない。私は思ふ。私達は自己の魂の眞實の叫びをもつて人類社會に訴へてゆかねばならぬと。

それは文學と云ふ舞臺へ裸で躍り出してゆくことに外ならない。永遠に生きる文學は生命を吹きこんでこそ不滅なのだ。

滿洲の作家諸氏よ！私達は若いのだ、この若さこそ新しい獨自な滿洲文學を生ましめる唯一の鍵ではないか、若き情熱、努力こそ最後の勝利なのだ。現在の滿洲の文學は勤人文學の域を一歩も出てゐない。職業作家位はどん〳〵と出來ても良いと思ふ。それには先づ滿洲に在住する作家の優遇論を高唱したいものである

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△民生（一月號）田村敏雄「病院と監獄との不要な世界へのあこがれ」松本定敏「わが國の宗教問題」伊藤亮一「阿片政策並に癮者治療の根本理念」峠一夫「民生振興の一面としての社會政策と社會事業の進路」その他民生部關係の諸記事を盛つてゐる（民生部大臣官房資料科）

△新國劇（二五號）同劇團の動きについて報告してゐる（東京市豐島區駒込三丁目四三五、新國劇事務所）

△滿洲婦人新聞（二月十一日號）（大連、滿洲婦人新聞社）

△金融合作社（一月號）同社についての研究、その他を盛る、ただ近く興農合作社が出來るといふのにそれについての記事があまりないのが不思議である（新京興仁大路、金融合作社聯合會）

△協和（二月一日號）滿洲定着特輯であり見るべき記事が多い、なほ吉野治夫「北學田開拓團訪問記」小松「東部國境線を行く」等の注目すべきものもある（大連、滿鐵社員會、二十錢）

△新京圖書館月報（一月）森下辰夫「康德六年度思想界回顧」池邊青李「美術回顧」藤川研一「劇團回顧」鶴章夫「歌壇回顧」大内隆雄「滿系文學回顧」その他書評、新着圖書等（新京中央通三〇 新京圖書館）

△滿洲公論（二月號）山邊省平「滿洲國に於ける土地制度」紫藤貞一郎「ラヂオ風景」創作、青木郁子「濁心」武田勝利「笑ふ」等（大連、滿洲公論社、五十錢）

△紀元二千六百年（二月號）武田祐吉「紀元二千六百年と日本書記」その他あり（紀二千六百年奉祝會 十錢）

△地質調査所要報（一〇號）岡田重光「青城子附近の鑛床と火成岩の分布」收錄（地質調査所）

△地質調査所報告（九七號）明安道路、安圖縣城地質等についての研究報告收錄（地質調査所、一圓五十錢）

△短歌線（第一號）自選歌特輯號である、中島新、稻垣輝安その他の作品を盛る（天津特一區江西路三號、短歌線社、三十錢）

△短歌線（二月號）作品若干を示すと——

露地裏のくらき階段にいのちかきたて種族におちし煙鬼のかげ　榛山綺一郎

妻となり純ともおもふ感情は否定されつゝ愚となり果てし　安部光子

（天津特一區江西路三號 短歌線社、三十錢）

△滿洲電氣協會會報（一一號）武井武「電氣化學工業と其振興策」濱田篤一郎「風塵による自動車の帶電障害」北出長在門「滿洲に於ける電力負荷の特性」「近視豫防座談會」その他の資料を盛る（新京大同大街、滿洲電氣協會）

△旅客と交通（二月號）「暖い師走の旅を北鮮から東北滿洲へ」「滿洲新聞界秘話」その他の記事がある（京城府初音町二〇〇、鮮滿旅の友社）

家庭医学

冬季に於ける姙婦の心得

★姙娠中に起り易い惡阻 ★脚氣、浮腫、腎臓炎の手當

冬季に於ける姙婦の一番に注意しなければならないことは、感冒に冒されない様にすることであります。殊に姙娠の後半期、わけても臨月近くに感冒に冒されると高熱のため胎兒が死んだり、また早産することが往々あります。

先づ感冒に罹らぬ樣に注意し、そして姙娠中の攝生さへ充分にゆき届けば、案ずるより産むが易いの諺の通り大概は易々とお産の大役も果せ終せるものであります。

併し、要心してゐるつもりでも姙娠中にはとかく種々の病氣——例へば——つはり、腎臓炎、姙娠脚氣、浮腫などに惱まされるものであります。先づつはりですが、之れが甚くなると榮養が全く衰へるのみか、腦まで冒されて生命を失ふといふ樣な例も珍らしくありませんから、つはりは姙娠に付物などゝいつて輕視するのは非常に危險であります。

一體、つはりは胎兒や胎盤から生ずる毒素のために起る病氣とせられてゐますが、最近ビタミンBの缺乏が、之れに密接な關係をもつてゐることが證明されました。

ビタミンBは

一般に脚氣に對する效果のみが知られてゐますが、之れには發育促進その他種々の效果があつて、元來非常に複雜な作用をもつてゐます。即ち胃腸強壯、發育促進等の作用もありますが、更に喜ばしいのは解毒及び新陳代謝を旺盛にする作用で、之れがつまり胃腸や膵臓などに働いてつはりを鎭める上に效果があります。

またつはりにインシユリンを用ひると有效ですが、從來それは注射によらなければ用ひられない憾みがありました。處がこのインシユリンの一種で

のんでも効く

グリコキニンといふ成分があつてこれがビタミンBと共にヘーフエといふ微生物に夥しく含まれてゐる事が證明せられてゐます。

つはりに惱む姙婦から若素（わかもと）が非常に歡迎されてをりますが、この藥はそのヘーフエといふ微生物のもつとも優秀なものから製られた代表的の藥なのであります。

それから胃腸が弱いと姙娠に大切な榮養が害なはるるは勿論つはりを增惡する傾向があつて殊に便祕は非常な害を及ぼします。また姙娠中には脚氣や腎臓炎が起り易くこれが流産や早産の原因となりますから、浮腫のある姙婦は警戒を要します。就中

尿に蛋白が現れる

人は子癇といつて急に全身痙攣を起し、母子とも命を奪はれる恐ろしい病氣を惹起す事があります。

ところが前記の、つはりに效果のある若素（わかもと）には種々の酵素があつて食物の消化吸收をよくし、胃腸や腎臓を丈夫にして便通、利尿を整へ、新陳代謝を旺盛にしますから、自ら浮腫も除かれます。特に脚氣にはビタミンBが豐富に含まれますので、殊によく効きます。

姙娠中の婦人には是非、常用をおすすめしたい良藥であります。

姙娠と結核

結核素質の婦人が姙娠しますと、胎兒の發育が不全で、生れても虚弱體質となり、結核に罹り易いばかりでなく、母體も姙娠中に結核を出したり、或はつはりがひどくなつたり、或は産後の衰弱・貧血等のため危險に陷るやうな例が少くありません。

かういふ惧れのある方は、姙娠中から母體と胎兒の保護強化のために若素（わかもと）を常用なさるやうおすゝめ致します。若素（わかもと）は胃腸を強め、榮養を旺んにして抵抗力を強めるばかりでなく、つはりを防ぎ、胎兒の發育に必要な成分を補給して、その健全なる發育と母體の安全を期することが出來ます。

産後の衰弱と乳不足の食養生

お産をすると體重は凡そ十分の一減少します。即ちお産前に十五貫あつた婦人はお産をすると約一貫五百匁を失つて十三貫五百匁になります。そしてお産による出血量は正規のお産の場合で一合四勺ですが、概して二合までは普通であります。

この、失つた二合の血と、一貫五百匁の肉を、早くとり戻して産後の衰弱を恢復するには、つとめて豐富に

◇…榮養

をとり入れなければならない事は申すまでもない事であります。

榮養といつてもお産後は胃腸も衰弱してゐますので、當分は野菜や肉のスープ、お粥、牛乳、ほうれん草のおしたし等の消化のよい食餌から始めて、だん／＼榮養に富んだ普通食に移るのが安當であります。産後の衰弱があまり甚だしかつたり、恢復が捗しくなかつたりすると、お乳の出も惡くなり、從つて赤ちやんも弱くなつて、發育がおくれます。

乳不足の場合に、鯉コクやうどんや餅などを食べると、食べた當座お乳がよく出ますが、榮養のよい乳を何時もタツプリ赤ちやんに飲ませながら、一方衰弱の

◇…衰弱

を早く恢復するにはさうした食養生もさることながら、要は努めて胃腸の機能を昂めて、全身の榮養をよくすることが肝要であります。

榮養をよくする爲には別にわづらはしい思ひをしながら三度々々の食餌を選擇して作らなくとも、たゞ平素の食餌のまゝで、日に三度若素（わかもと）を服んでゐますと、弱い胃腸の食餌から榮養分が攝られ、全身の榮養が非常によくなり、榮養のよいお乳が澤山出る樣になります。

それは、この藥が優れた榮養增進劑として榮養學者から賞揚せられてゐますだけに、鯉コク、うどん、その他鶏卵、牛乳、肉、野菜、海藻等に含まれてゐる榮養素は勿論のこと、在來の肝油や、ビタミン劑やアミノ酸劑等に含まれてゐる榮養素を一緒にした以上に榮養分が多いことが一つの原因であります。

◇…併も

若素（わかもと）には消化を助ける各種の酵素が含まれて居りますから、胃腸の働きを丈夫にするので、これを飲めば胃腸の衰弱も恢復して食慾がすゝみ、從つて食物の好き嫌ひも少くなつて、一層、産後の榮養が昂まり、衰弱も早く恢復して肥立に直ぐ立直ります。

この若素（わかもと）は東京芝公園、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五、六錢（小兒には二、三錢）位の廉價で發賣されてゐます。滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

姙娠毎に惱まされた惡阻

（東京市向島區隅田町）倉持しげ子

私は今年三十四歳で三人の子供の母で御座います。私の惡阻は非常に酷く、今迄三人の子供の時も二ケ月半から三ケ月位は病人以上の苦しみを味はひました。この約百日の間は何の食物を攝つても保ちません。文字通り寝たり嘔いたりばかりになつて、自分ながらこれでよく生きて行けるものだと不思議に思ふことも度々御座いました。

今度も丸五年振り姙娠いたしましたので内心案じてをりましたところ、二ケ月位から月のものが無くなり五、六日して床に就くやうになつてしまひました。何か良い藥は無いものかと主人に度々藥を買つて來て頂き、服用してみましたが何れも效果がなく、産婦人科の醫師に診て貰ひ少しばかりお藥を頂戴して服んでをりました。

さうかうしてゐる中に二十五六日經つたある日、姉が雜誌を持つて來て見せましたので、それを見て居りますと、「姙娠わかもと」の記事が目に入りましたので、早速主人に買つて來て貰ひ少し多目に服んでみました。

すると×日目頃から食物が胃に保つやうになり、續いて服用を續ける中に食慾も增して仕事は出來ませんが朝から久し振りで起きる事が出來るやうになりました。

今迄の經驗ですと、惡阻では三ケ月から惱む私が、こんな短日月に輕快した事はなんとも形容のしやうがありません。お蔭樣で身體も至極丈夫になり、毎日元氣に働いてをります。

軍事援護優遇法決定の喜び

軍管區司令官一行軍官學校視察

軍管區司令官會議の日程を終へた軍管區司令官一行は十七日午後二時から打揃つて新京郊外拉々屯軍官學校生徒の訓練狀況を約二時間に亙つて視察した【寫眞は銃劍術を見學中の司令官一行】

頒たれた光榮　熱情もつて努力

直木軍人後援會長語る

兵役法制定に伴ふ軍事援護並に優遇の二大要綱案の決定により更に銃後機關として重大責任を加へるに至つた滿洲軍人後援會ではこの報知に一層緊張した喜びを見せてゐるが、その頼母しい空氣を代表して同會長直木倫太郎參議は語る

完備した兩要綱案の決定をみたことは實に欣快に堪へない、これで卑武的な危惧や銃後の不安も解消され壯丁は安んじて勇躍重要國務に服することが出來るし一般國民もさぞ滿足するものと信じる、後援會としては一切の軍役關係者に後顧の憂ひをなからしめるために出來るだけ種々の手段を盡しこの重要任務の一半を頒たれた光榮に感激努力するつもりである、軍務者への慰藉慰問と遺家族の帥育教育生業生活の補助扶掖を中心にあらゆる銃後機關の先頭にたつて力を致したいと思ふ、勿論政府の補助もあるがそれに殃つ迄もなく全滿官民に呼びかけ必要なる經費その他を義捐醵出じて戴きたくこの點特に國民全般の感謝に燃えた熱情を深く希望して已まない兩要綱案には例へば入隊中の壯丁の士氣を鼓舞するため家族の兩會に特別の便宜を圖るなど東洋の美風たる家族制度を巧みに繰り入れた點など世界にも例の少い行き届いた立派なものだから、服務する者も銃後にあるものも一層その尊い使命に鑑み信念を以て新東亞の黎明に向ひ共に建設の巨歩を進めてゆきたいと念じてゐる【寫眞は直木會長】

恤兵院の擴充等實行　滿赤早借氏談

いよいよ決定した待望の軍事援護及び優遇兩要綱案につきその一翼を擔當するはかりか更に重責の加はつた滿赤では總務部長早借喜太郎氏が使命に感奮した全員の決意を次の如く語つた

大變立派な案のやうに拜見しまして一層國威が充實發揚されませうと感激して居ります、本社どしましては特にその際療方面と不幸な白衣勇士の更生を圖る職業輔導に努力する事になつてゐます、そのためには恤兵院の擴充計畫も着々進められて居りますが、その他の準備にも萬全を期し本來の使命に加へて一層機能を發揮すべく方針を樹立全員全力を傾注して目的貫徹に奮闘することを堅く期してゐる次第であります

國兵法と改正か　〝兵役法〟の名稱研究

愈よ明年六月より實施される兵役法はその名稱が滿洲國の國情にピッタリこぬ憾みがあるので、主管部たる治安部ではこれを國兵法と改むるを妥當なりとし十七日の軍管區司令官會議に諮つた結果贊同を得たのでここに治安部の態度として國兵法の呼稱改正に決定、近く總務廳始め關係方面と打合せの上正式に決定する運びとなつた

軍管區司令部に兵事處新設

治安部では從來軍管區司令部參謀處で取扱つてゐた募兵事務が繁忙を來すに至り且つ八年度より國兵法も施行されるので今回全軍管區司令部に兵事處を、軍管區司令部の所在せざる北安、錦州、安東等の各省には省公署内に辦事處をそれぞれ新設、徵兵事務一切を取扱はしめる事となり、目下機構ならびに編成その他細部について引續き研究を進めてゐる

日滿速達たつた二分間！

葉書電報愈よ登場

東京―奉天―新京　五月頃から開始

【東京國通】文字や繪をそのまゝ直送する葉書電報の業務が日滿支三國間に開始され三國通信界に劃期的な精彩を與へることになつた

この葉書電報は遞信省で數年來研究が續けられ、この程東京＝大阪間のテストに好成績を收めたもので、その原理は文字なり繪なりを書いた葉書毫の類信紙を送信器のシリンダーに捲込みこれに電波を與へると文字は一ミリの太さの四本の素線となつてこれを電波に變へ增幅して日滿ケーブルの電話曲線で奉天、新京に連絡、受信局で文字や繪がそのまゝ再現されるもので、電送寫眞のやうに現像、燒付けの必要なく裝置も至つて簡便である、この類信紙は葉書と同一型のところから遞信省では葉書電報と名付けてゐる

事務は五月頃先づ東京＝奉天＝新京間に開始されて更に北支とも行ふ豫定でこれによれば葉書一杯の文字を送るのに東京＝新京間で僅か二分足らずで濟み、然も配達は速達となつてゐるので從來の電報に比し時間的にも敏速なばかりでなく設計圖や海圖等がそのまゝ送れるので極めて有意義なるものとして期待されてゐる

市民本位へ軍犬陣容建直し

支部長に關屋副市長就任

滿洲軍用犬協會新京支部第五回總會は十七日午後三時から特別市公署會議室で開催、關屋副支部長以下各役員出席會計幹事より康德六年度の會計並に事業報告あり康德七年度豫算並に事業計畫の説明あり滿場異議なく可決承認、ついで支部の事業擴充に伴ひ支部長に關屋副市長、副支部長及び訓練所長に村川衛生處長を推薦承諾を得た

斯くて市民本位に陣容を整へた支部本年の事業につき隔意なき意見を述べて散會、なほ支部では仔犬品評會、愛犬持寄會、或は映畫に講演により積極的市民に呼びかけ會員倍增運動の徹底を期することになつた【寫眞は支部長に就任した關屋悌藏氏】

防空歌募集

懇談會の宣傳方策

協和會首都本部主催「防空知識者及懇談會」は十七日午前十時から軍人會館で開催、防空關係の各機關、團體、學校方面から約五十名出席し防空知識普及宣傳に關する實施要領につき長時間に亙つて熱意ある懇談を遂げた、決定された普及方法の主なるもの次の通りである

ラヂオ放送、新聞雜誌に宣傳記事掲載、防空歌募集、警察官の巡回指導、防空講話、防空ポスター、防空塔、映畫館の利用、商店の店頭裝飾、包紙利用、家庭防護施設の作成指導、ビラ配付

滿拓自動車また雲隠れ

滿拓公社では奉天より佳木斯事務所へ輸送の自家用トラック二臺のうち一臺（フォード一九三九年型、一時運轉奉天北市場警察署一四七號）が十一日新京に到着したが、十三日出發豫定のため大同大街海上ビル裏天理教滿洲傳道廳廣場へ駐車せしめて置いたところ何時の間にか雲隠れしてゐるのを十三日朝になつて發見先きに東寧へ輸送途中新京附近で二臺行方不明となつたばかりのことゝて大騒ぎして輸送運轉手中澤源次郎（三一）の所在を探したが中澤も行方を晦してゐる點から或は同人が運轉失踪したのではないかとみて八方調べたが判らず十七日午後所轄順天署へ捜査方願ひ出た、なほ同車にはガソリン一罐モビール油二罐スペアタイヤ他工具一式を積載してゐる

比叡號羽田着

純國產機をもつて日本海横斷により東京―新京間連絡飛行に成功した日空の比叡號は一夜を新京飛行場に明かし十七日午前九時十分細川操縱士ら五名の乘員が搭乘して離陸國都にさよならを告げ直線コースによつて一路東京に向つて歸航の途についたが優秀性能を遺憾なく發揮して一千五百キロを僅か四時間二十分の新記錄をもつて翔破し午後一時三十分羽田空港に安着した

在滿神道各派も統合へ歩み寄り

國都四教先づ方針協議

神道に基く日本精神布教のため全滿に布教する神道團體は十三派の多きに達してゐるが、相互の連絡不足から滿洲國の特殊事情に即した行動統制に相當の困難があり協和會輔導科當局においで豫てこれが足並み統合を慫慂中であつたが、先づ新京に本部をもつ金光、天理、御嶽、神理の四教が率先十七日午後六時から新京北安路天理教滿洲傳道廳において神道教派聯合會結成協議會を開催、今後の動向方針につき協議した

なほ四派の現在勢力は天理教の全滿教會八十九、信者二萬五千、金光教の二十教會一萬人に對し未だ非公認とはいへ近く公認を約束されて發展一路を辿る神理、御嶽兩教會は國都のみで合せて信者五、六百といつたところながら天理教に三千四百十四人、神理教に十八人前後の滿系信者が現れ何れも增加傾向に向つてゐる點などから各派聯合の實現は日滿一德一心運動の有力な一翼をなすものとしてその實現を期待されよう

靜岡市救濟義金募集「映畫舞踊の夕」

藤影幼稚園主催、市公署教育科、滿鐵福祉係、寶山百貨店、藤影西本願寺別院、藤影佛教婦人會、同青年會並に本社後援の靜岡市火災救濟基金募集「舞踊と映畫の夕」は十七日午後六時より西廣場滿鐵社員倶樂部に於て開催、園兒の可憐な舞踊に劇或は映畫にと多彩なプロは滿場の拍手に迎へられて進められ盛會裡に同十時半閉會した

彩票は國防の一端

組合總會で販賣の趣旨徹底

滿洲興業證券では來る廿日全滿裕民彩票販賣人組合員五十餘名を招致、第一回總會を開催、浮動資金吸收に關聯する裕民彩票販賣事業の重要性に鑑み今後の販賣政策は一層右國策に順應すると共に、裕民彩票販賣の趣旨について單に投機的好奇心に訴へることなく彩票基金が滿人福祉事業より國防事業へ轉用されつゝある實情より彩票購入に國防力分擔の意を徹底せしめる事とし、販賣網の強化、下請販賣人の擴充等についても協議することゝなつた

渡邊中尉戰死

【〇〇にて十七日發國通】十六日午後二時新林習（蕭山東北方約三里）の戰闘において島田部隊の渡邊武夫中尉（福島縣相馬郡出身）は敵彈を受け名譽の戰死を遂げた

保安警察官の南滿工業地區視察

治安部警務司では治安保衛の任に當る警察官再教育のため全滿から選拔した約六十名の保安警察官を火藥關係（四十名）並に原動機、工場、自動車關係（二十名）の二班に分ち實地の視察を行ふことになつてゐたが、一行は二十八日午後十一時三十分新京發列車で出發、奉天、撫順、鞍山方面の各關係部門について技術講習の實地教育を受けることに決定した

滿人四人組の鐵筋泥棒擧る

昨年來の建築場荒し！

十六日午後六時頃西五馬路附近を密行中の順天署司法係吉田、菅原、車、高四刑事が馬車上に鐵筋（一千五百圓）を積んで通行する擧動不審の男を發見、有無を言はさず本署に引致取調べを行つたところ、意外先年六月頃より管下各署を荒しまわつてゐた鐵筋四人組窃盜團の指命犯人中頭目と目されてゐた河北省生れ住所不定無職李樹堂（三三）と判明した

この思はぬ捕物に俄然色めいた同署では李の自白に依つて刑事を八方に繰り出し河北省生れ東三馬路萬斗客棧止宿無職陳錦蘇（三七）河北省生れ東新京警務段街四〇號無職劉鳳祥（三五）山東省生れ住所不定王玉堂（三二）等一味の潜伏現場に急行一網打盡に檢擧して本署に引致した

彼等一味は先年六月以來市内全市に亘る建築現場に置いてあつた鐵筋を始めセメント等の建築資材を卅四件に亘つて窃取、其の他故買十二件、價格約一萬六千圓の惡事を働いてをりこれ等贓品は永長路五號益果商行古物商侯俊峰（二七）並に長春大街二號一七古物商劉大宗（二五）に夫々賣却してゐた

香典返し廢し昭和軒獻金（本社寄託）

郷軍其他へも寄附

新京銀座に長春時代から理髪業昭和軒を經營してゐた梅本善吉氏は去る一月廿二日死去、次で妻女スエノさんは二月二日死去、遺族は新京を引揚ぐることゝなり十七日香奠がへしを廢し國防獻金ならびに寄附を行ひたしと本社へ寄託したのでそれぞれ手續きを了した

國防獻金に二百圓、郷軍新京聯合分會へ五十圓、國防婦人會へ五十圓、長男會へ五十圓等

アルゼンチンから珍客

躍進滿洲國の各市場視察のため目下日本各地訪問中のアルゼンチン經濟視察團團長、チリー駐在同國公使ドンフエデリコ・キユンタント氏以下一行五名は夫人、令孃同伴三月中旬非公式ながら來滿、躍進滿洲をつぶさに視察することとなり目下日程を作成中である、なほ視察團員氏名は次の通り

カルロス・L・トルヤニ（外務省通商局長）エドモンド・J・カグノ（アルゼンチン中央銀行次長）エンリツク・G・フラース（ア國商工會議所顧問）モーリス・B・ヘルマン（農商務省羊毛研究所代表）マヌエル・ムシコ・ライネツツ（ラ・ナシオン紙代表）

鶴岡炭礦の減産補給對策

二月十日午前零時三十分發火した滿炭鶴岡炭礦興山採炭所第一坑第五層の火災は殆ど鎮火したが同坑よりの採炭は當分不可能の見込である、滿炭現地に於いてはこれによる出炭減に對處するため南滿採炭所において十七日より夜間作業を實施し、これにより毎日五十車程度（從來二十二車）の增逸をなすことになつたが、更に火災個所以外の採炭所における採炭量を積極的に增大すべく各種の對策を講じてゐる

割烹 活河　祝町二丁目 高野山東 電③3156

姚團長から報告

多大の成果を收めて閉會した東亞操觚者大會に出席した滿洲國代表一行は東京市招待終了とともに十六日東京發西下、歸國の途につきつゝ途中各地を見學しつゝ十七日姚任團長（弘報協會）から武藤弘報處長あて次の如き報告があつた

大會無事終了す、一行はこれより箱根に迎ひ關西五大都市長の招待にあづかる豫定

八紘保健奉仕隊

北滿に新天地を開拓するわが移民村の醫療に一身を捧げやうといふ拓務省囑託の八紘保健奉仕隊の先發隊團長瀧川寅次郎氏ら團員十二名は十八日大連出發二十一日午後九時四十五分着列車で來京することになつた、一行は大和新館に投宿、二十二日大使館拓植委員會、民生部、開拓總局、滿拓公社、各新聞社等を訪問挨拶を述べ二十三日午前中稻垣拓植局長より一場の訓示をうけ午後北行の豫定である

滿鐵兩副總裁

滿鐵副總裁佐々木謙一郎氏は滿鐵增資に關する株主總會の結果報告かたがた當面の諸問題につき監督官廳と連絡のため十九日午前八時着列車で來京の豫定、なほ佐藤副總裁は十八日午後八時二十分來京する豫定

平島支社長歸京

去月十四日東上滿鐵增資に關する臨時株主總會に出席後各地情勢を視察中であつた滿鐵新京支社長平島理事は十七日午後五時二十分着列車で興津秘書役を帶同歸任した

七分鴇

市公署の丹田庶務科長と北村庶務股長揃つて多年運動で鍛へた偉丈夫、御たぶんに漏れず豪傑酒を好むの口▼さて御二方、さる宴會の歸途聊か飲み足りないと云ふ譯で車、車と探し廻つて車を見付けたはよいが運ちやんが大勢の醉漢對手に大立廻りをやつてゐるので義侠心を出した御二人「待つた〳〵」とばかり仲裁に入ると大勢の醉漢も二人の偉丈夫達に恐れをなし四散してしまつた▼さてその車に乘つて目的地へ向つたはよかつたが運ちやんどう感違ひしたものか派出所に車を乘りつけ曰く▼「この二人が私を擲りました」と訴へ出たのに大憤慨したお二人三十分もかゝつてやつと事態明白したがほろ醉加減も消へ失せ急に我が家が戀しく丹田さん、北村さん、ぢやさようならと一路御歸宅

けふの天氣　南西の風晴れたり曇つたり
きのふの氣溫　最高零下六度二　最低零下二十度五

淺春胡同【五一】

工 淸定
白崎 海紀(繪)

一時預り【4】

仲居たちに迎へられて、香閣の式台でスリッパアをつつかけてゐると、兩眼を異様に輝かせた支局長が、哲也の肩を小突いた。

「おい、黒田君はたしか井上部隊なつた」

「さうです。どうしたんですか支局長!」

彼の大きい返事を眼で抑へて帳場の方を指した支局長の指先きがふるへた。

ラヂオが戰況ニュース放送の最中だつた。哲也がそれと氣づいた時は、次の標題に移つてゐた。

「たしか△△城一番乘りの勇士は、井村部隊の黒田少尉と言つたやうに、わしには聞えたんだよ」

「あ、さうでしたか!彼奴ならやりかねないですよ」

さすがに哲也も胸が彈んで來た。

「素晴しいぢやないか。不逞團事件慰勞會兼黒田君殊勳祝賀會、これに君の婚約披露會と來ると、三拍手揃ふんだがな」

當惑した哲也の眼前に、支局長は顏の相好を崩した

「ちがひますよ。あの女、實は……」

支局長が大仰に手を振つた。

「言ひ譯は野暮といふもんだ。わかつてる、わかつてる、さあ、今日は一つうんとやればいいんだよ」

「支局長、これいま受付で渡してくれた黒田の手紙なんですが、呑む前に一寸讀んでもいいですか」

「何、そんなの持つてるのか。讀め、讀め!讀んでしまつたら、ここの床の間に飾つて、黒田君にもうんと呑ませてやるんだ!」

丁度、そこへ女が蒸しタオルを持つて來た。

「ぢや、わし、一寸一湯あびてくるからな、その間に讀んで要點をお相伴させてくれ給へ」

硝子窓を覗く芽吹いたばかりの落葉松の梢が、いきづくやうに動く位の微風である。

彼が封を切ると、例の書きなぐりの字が、亂雜に書かれた粗末な便箋が出て來た。

村崎兄

この手紙が届くころは、黄塵季もすぎてゐることと思ふが、どうだ。俺の少尉殿も近頃どうやら板について來たぞ。

新聞記者も來ないやうな前線まで進んだ我々は、この間、はじめて戰爭らしい戰爭にぶつゝかつた。

それまでは、たゞ米飯が食ひたい食ひたいで、餓鬼の一月を過したのに一寸參つた位で、折角、戰場へ來ながら、何だか張合がなかつた。(また、へらず口かと嗤ふ勿れ)

で、その戰鬪で敵のタンクを數台分捕つた。勿論、敵が操縱して來たタンクである。あとから考へてみると、聊か無鐵砲だつたと思ふが、あの刹那は學生時代ボールを抱へて、相手ティームのゴールへ走るやうな氣でゐたんだから、不思議なものだ。

部隊長はタンク生捕りは珍しいと、しきりにおだててくれたが俺は一月振りに、たとひ南京米にしろ、とにかく米と名のつくものを鱈腹食つて、その分捕タンクの中で、ぐつすり眠られたことの方が、よほど嬉しかつた。

しかし、そのタンク内の一夜以來、俺がすつかり俺でなくなつたほど、男が變つてしまつた。

列車發着表

○大連方面行
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時廿五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時 五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十三分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時 十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十三分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十分
△德惠行 七時 十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
△吉林行 前七時 五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△淸津行 十時 五分

○白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十六分
△四平街發 九時四十分
△釜山發 十時卅二分
△奉天發 十一時四十二分
△大連發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時四十八分
△大連發 八時二十分
△奉天發 九時廿五分
△釜山發 九時四十五分
△奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 ・六時五十分
△哈爾濱發 前七時十四分
△德惠發 十二時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時 十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時 三分

○圖們方面より
△淸津發 前七時五十三分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時 十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
△白城子發 十二時 一分
△白城子發 後六時卅二分
△前郭旗發 九時 五分

大阪商船出帆

門司、神戸行 月日

船名	月日
ありぞな丸	二月二十日
うすりい丸	二月二十二日
鴨緑丸	二月廿四日
熱河丸	二月廿六日
吉林丸	二月廿八日
うらる丸	三月一日
黒龍丸	

(午前十一時大連出帆)

三角、鹿兒島那覇行 次同丸 一月廿五日 午後三時大連發

東務所=大連、奉天、新京 哈爾濱、驛とビユーローにて連絡切符發賣

廣告の御用は 電話(3)三三〇〇